

DRAFT®

2022年12月期 通期決算説明会

2023年2月15日

東証グロース 証券コード：5070



CONTENTS

01 COMPANY INFORMATION

会社概要と事業動向

02 FINANCIAL RESULTS

2022年12月期 業績

03 FINANCIAL FORECAST

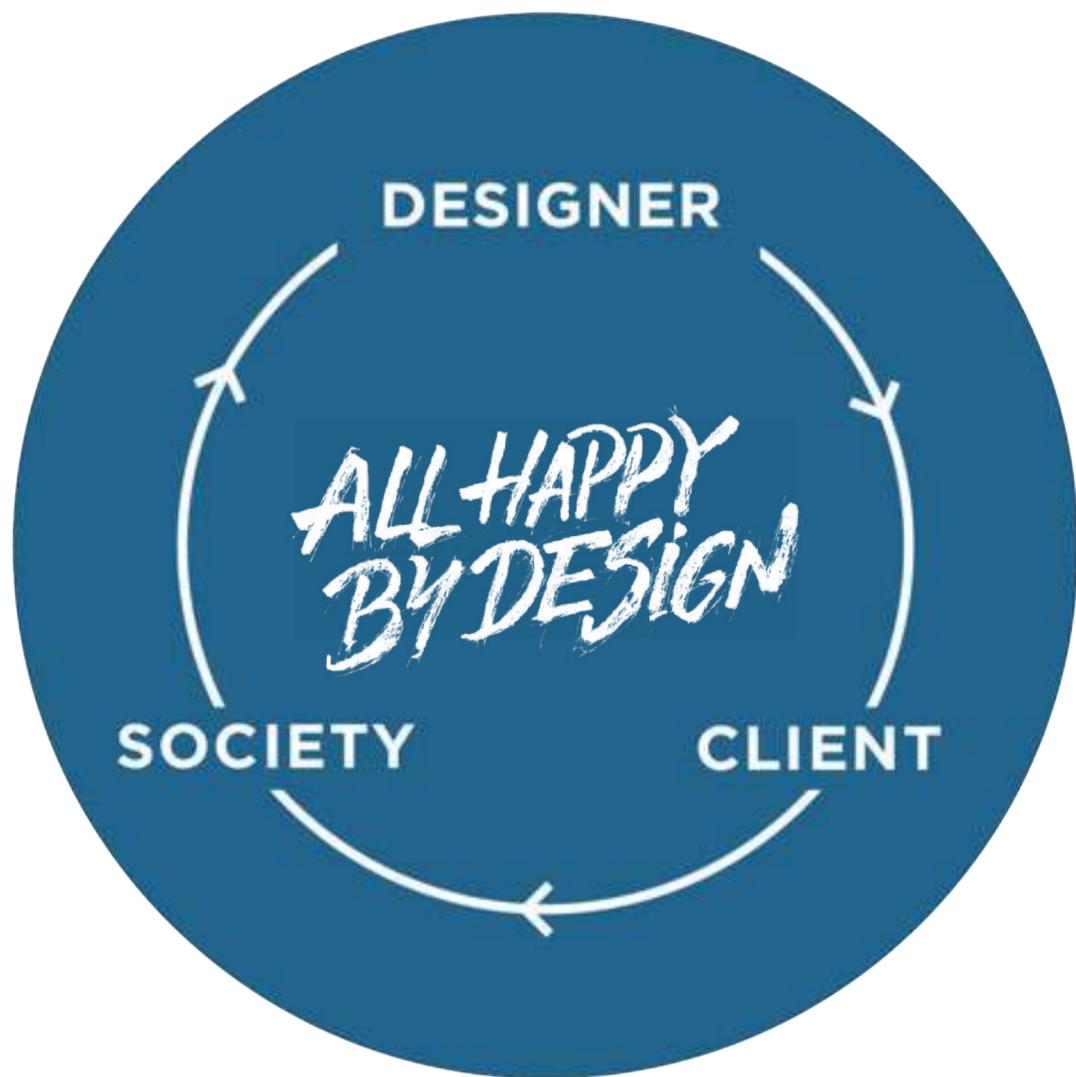
2023年12月期 業績見通し

04 SHAREHOLDER RETURNS

株主還元

COMPANY INFORMATION

「ALL HAPPY BY DESIGN」を理念に
デザインので世界にHAPPYの循環を作り出し
社会に貢献することを目指しています。



COMPANY INFORMATION

インテリア・建築・プロダクト・ブランディングetc
デザインを軸に分野横断的に活動



Workplace
Consultancy



Retail



Hospitality



Architecture



Product



Urban Design



事業や社会の課題をデザインで解決

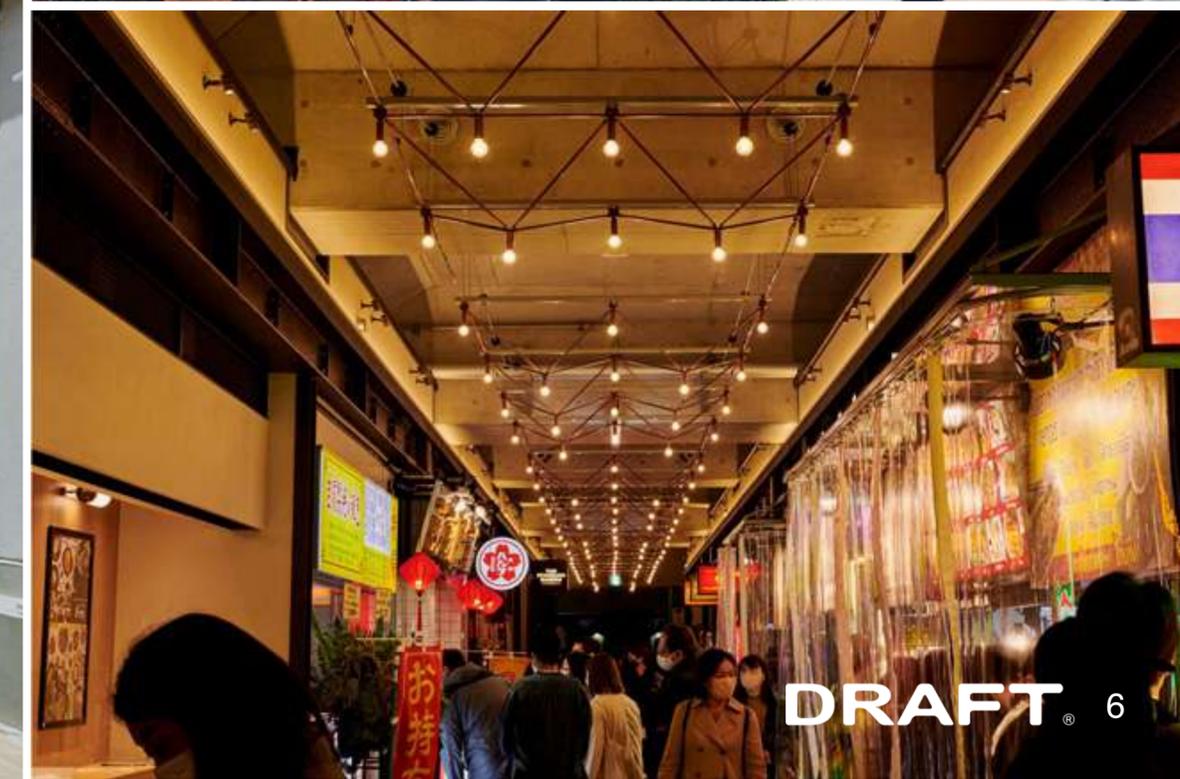


ミカン下北

2022年3月 OPEN



ミカン下北
2022年3月 OPEN



兼松

2022年11月 OPEN



KANEMATSU

兼松

2022年11月 OPEN



Wolfgang's Steakhouse by Wolfgang Zwiener TEPPAN

2022年12月 OPEN



Wolfgang's Steakhouse by Wolfgang Zwiener TEPPAN

2022年12月 OPEN



DAFT about DRAFT
2022年8月 OPEN



DAFT about DRAFT
2022年8月 OPEN

DAFT about.
DRAFT®



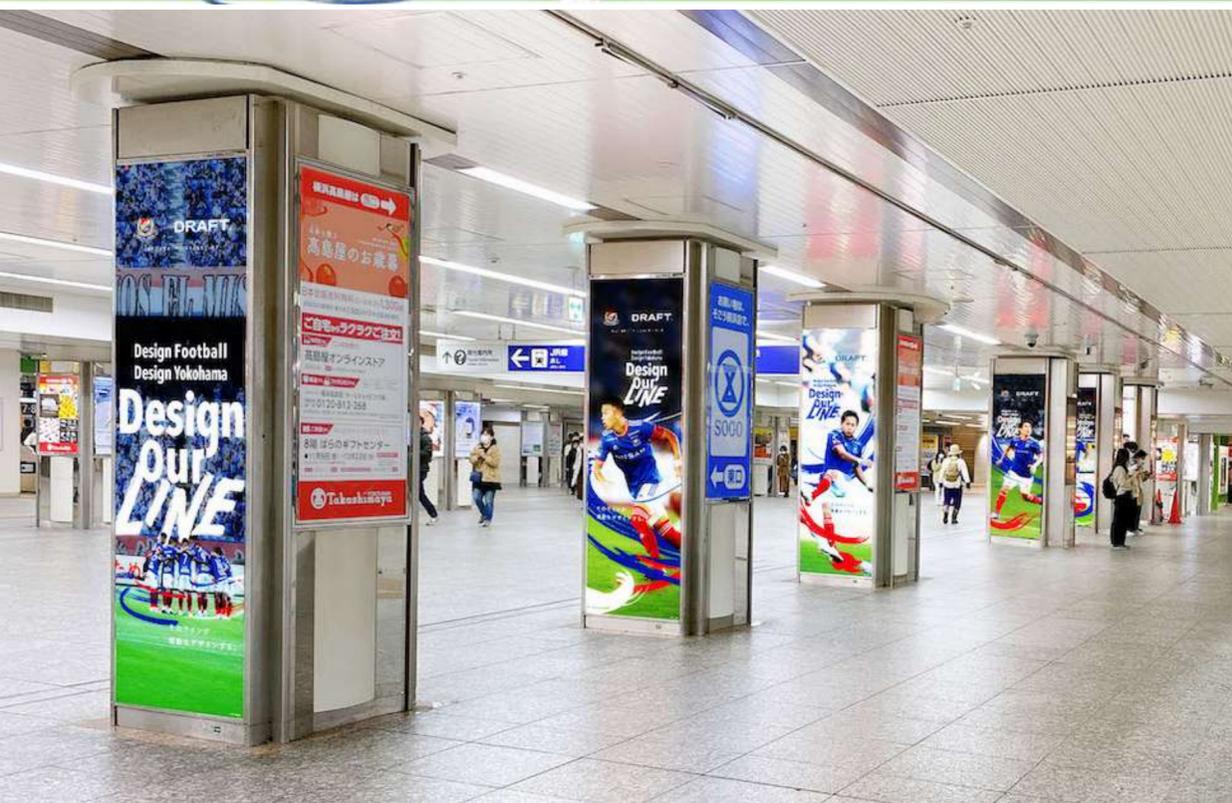
01 COMPANY INFORMATION



DRAFT® 12



J1リーグ「横浜F・マリノス」のトップパートナーとして



**THANKS
CEREMONY**

supported by **DRAFT**.

02

FINANCIAL RESULTS

2022年12月期 業績

業績ハイライト

先進的な空間デザインを実現してきた当社への高い評価を背景に売上高は前年を上回るものの費用増等の結果、いずれの利益も前年を下回る

通期実績の前年比

(百万円)	21年12月期	22年12月期	前年比
売上高	8,032	8,287	+3.2%
営業利益	955	108	△88.7%
経常利益	947	87	△90.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	574	21	△96.3%

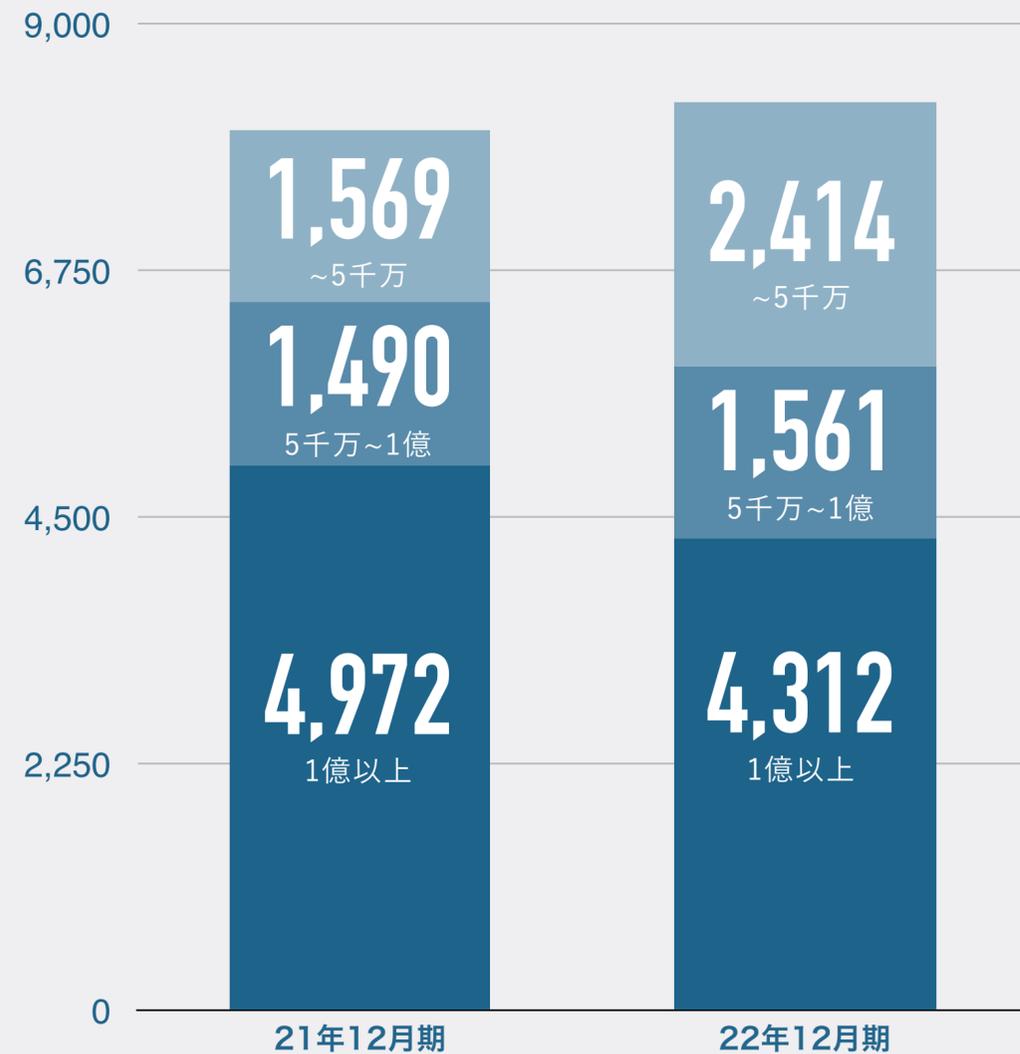
業績ハイライト 規模別売上高と平均受注額

小型案件が伸長

プロジェクト平均受注金額は堅調に推移

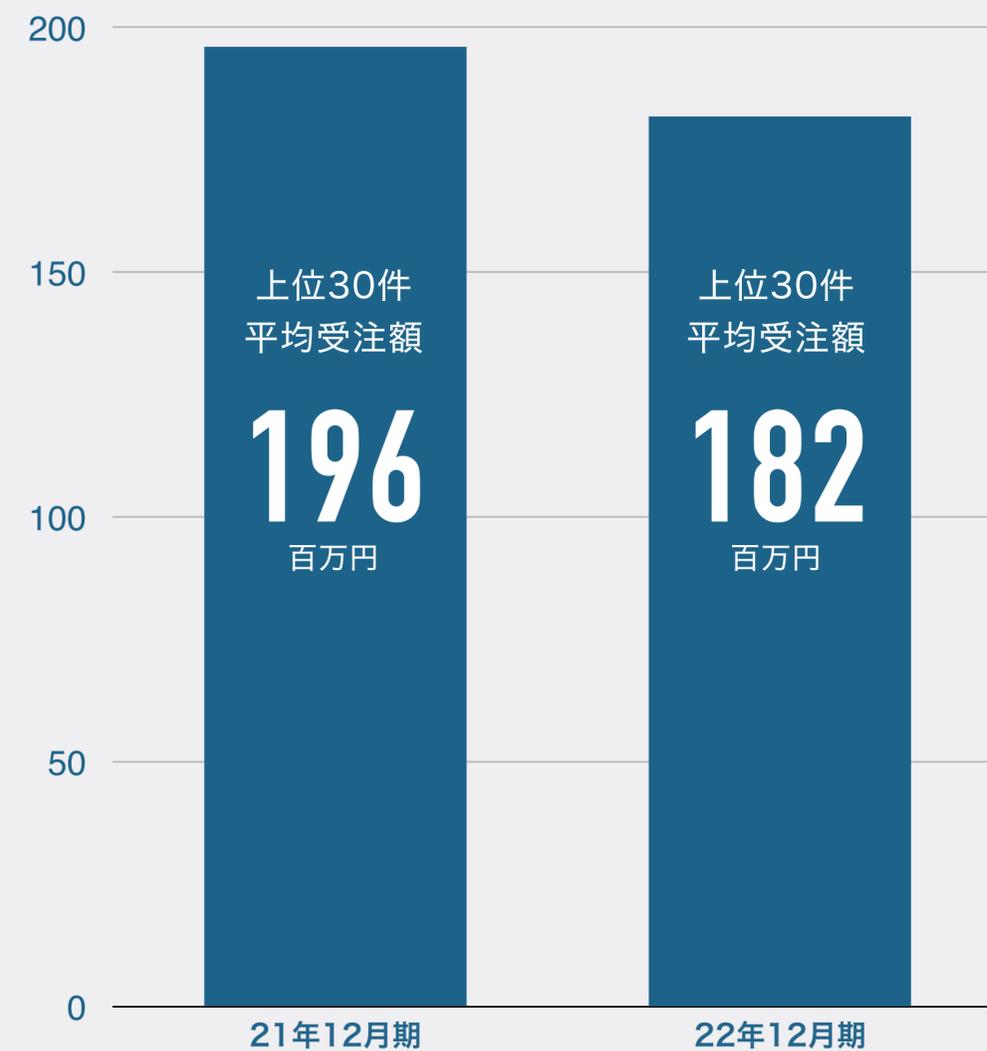
規模別売上高の推移

UNIT [百万円]



プロジェクト平均受注額（上位30件）

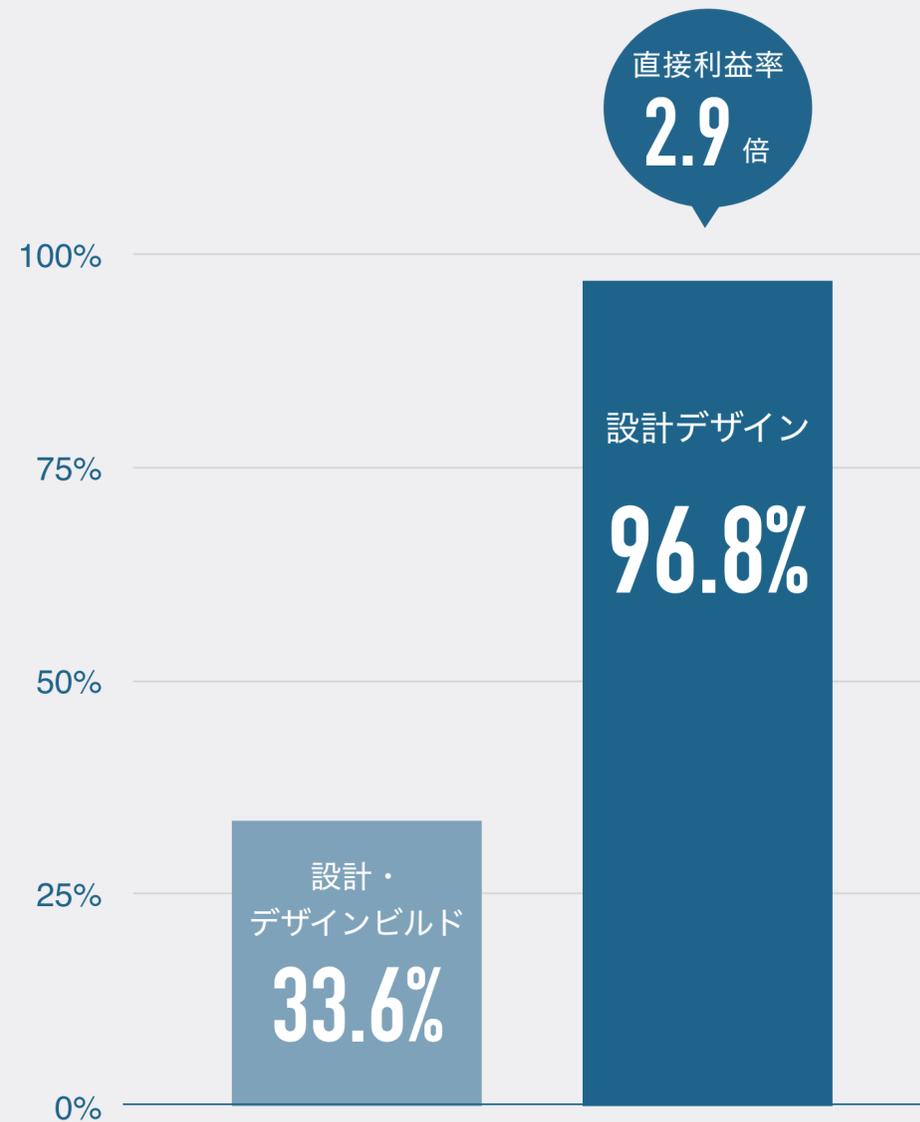
UNIT [百万円]



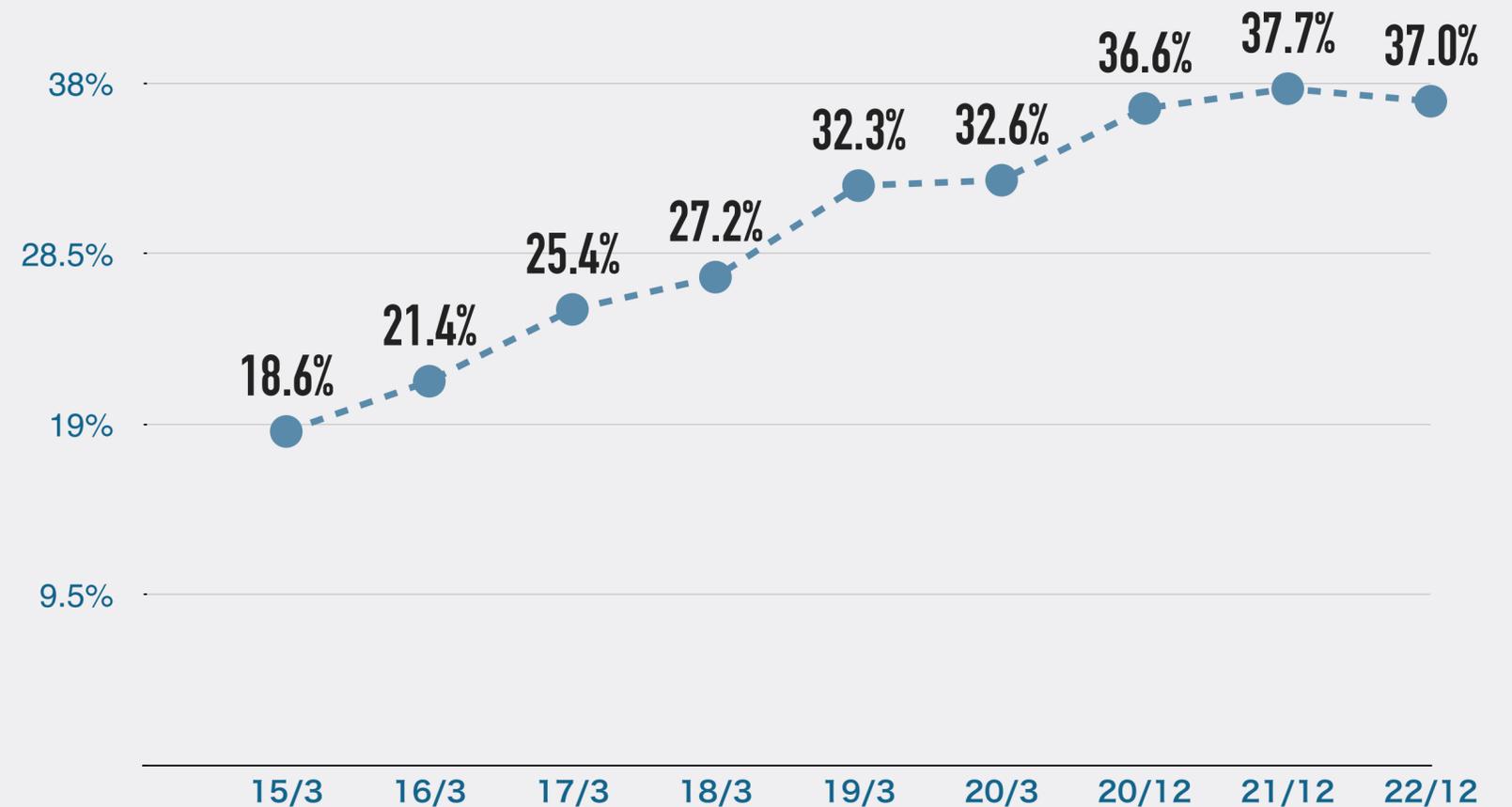
業績ハイライト 直接利益率の推移

高収益な設計デザインプロジェクトが利益率の上昇を牽引

直接利益率の比較（22年12月期）



直接利益率の推移



※上記は当社管理会計上の数値を記載しております。

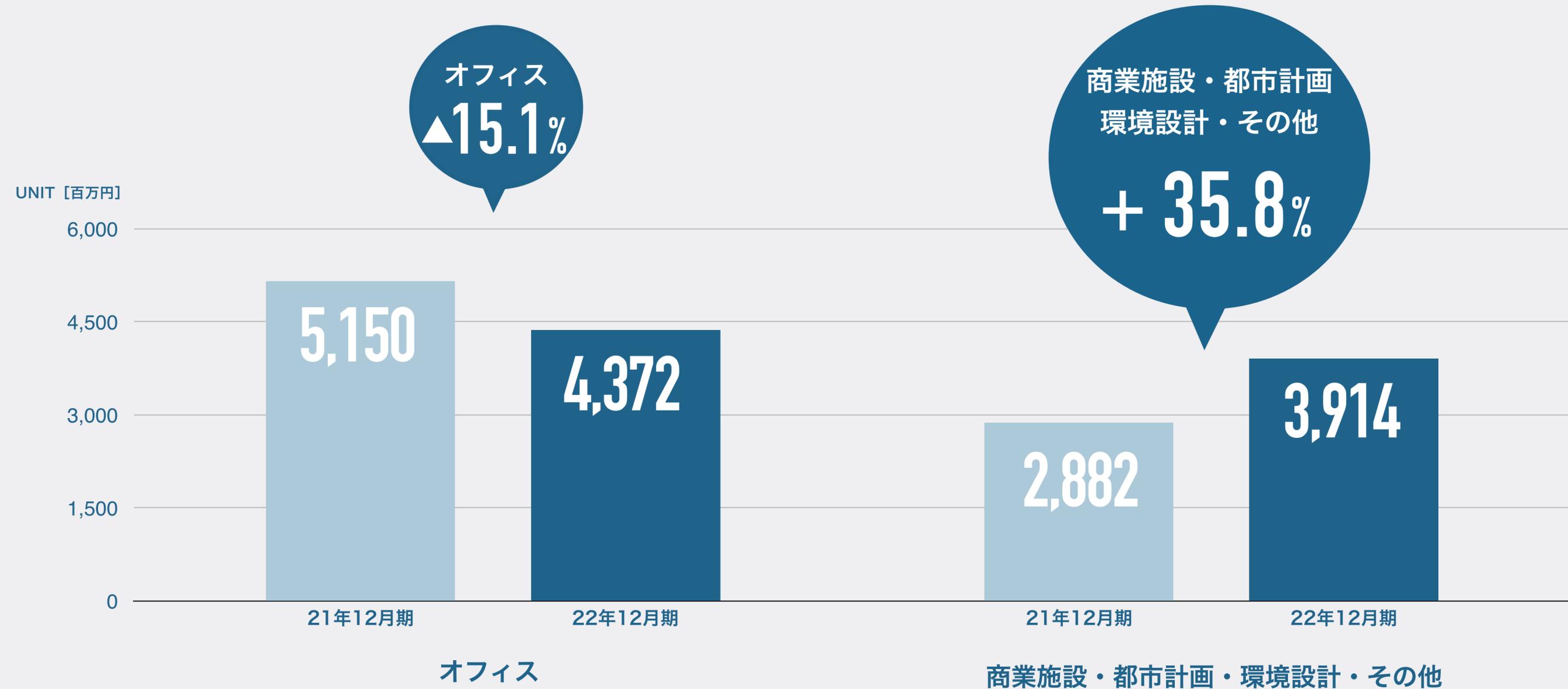
※会計管理計上、売上高から直接外注費・材料費を控除した利益を直接利益率としております。

※買収した旧株式会社サティスワンが行うブランドデザイン事業及びRe cord運営にかかる売上高・利益は含んでおりません。

業績ハイライト 領域別売上高の前期比

ビル一棟のリデザインを含む商業施設・都市計画・環境設計領域が大きく拡大

※当連結会計年度より、「オフィス」「商業施設・都市計画・環境設計・その他」の区分に変更しております。



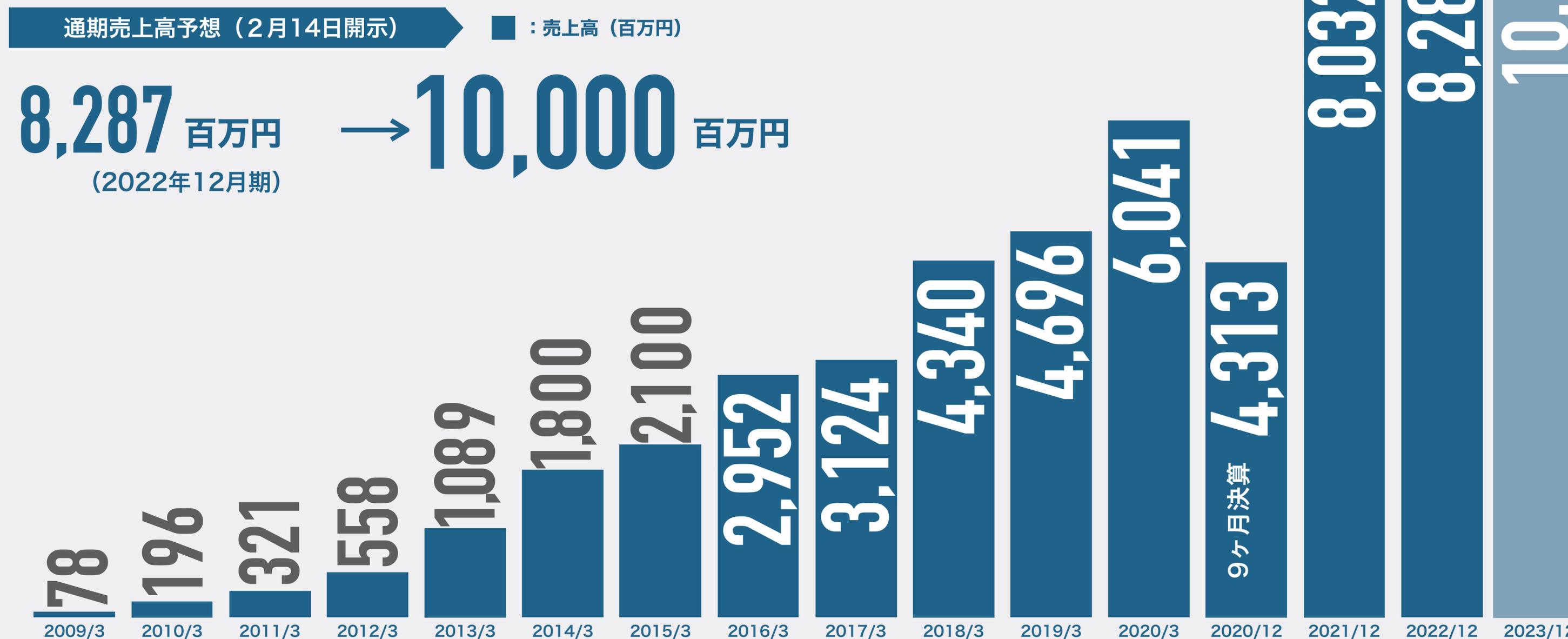
03

FINANCIAL FORECAST

業績見通し

2023年12月期 業績見通し

既存事業を中心に、業績は順調に拡大する見通し
(前年度を検証し、より確実性の高い目標管理スキームに修正)



※2017年3月期以前の数値は、当社単体の数値を記載しております。

2023年12月期 業績見通し - STOCK & FORECAST

期初時点のプロジェクトストック状況は58億円

目標管理スキームの基準をより確度の高いものに修正したうえで

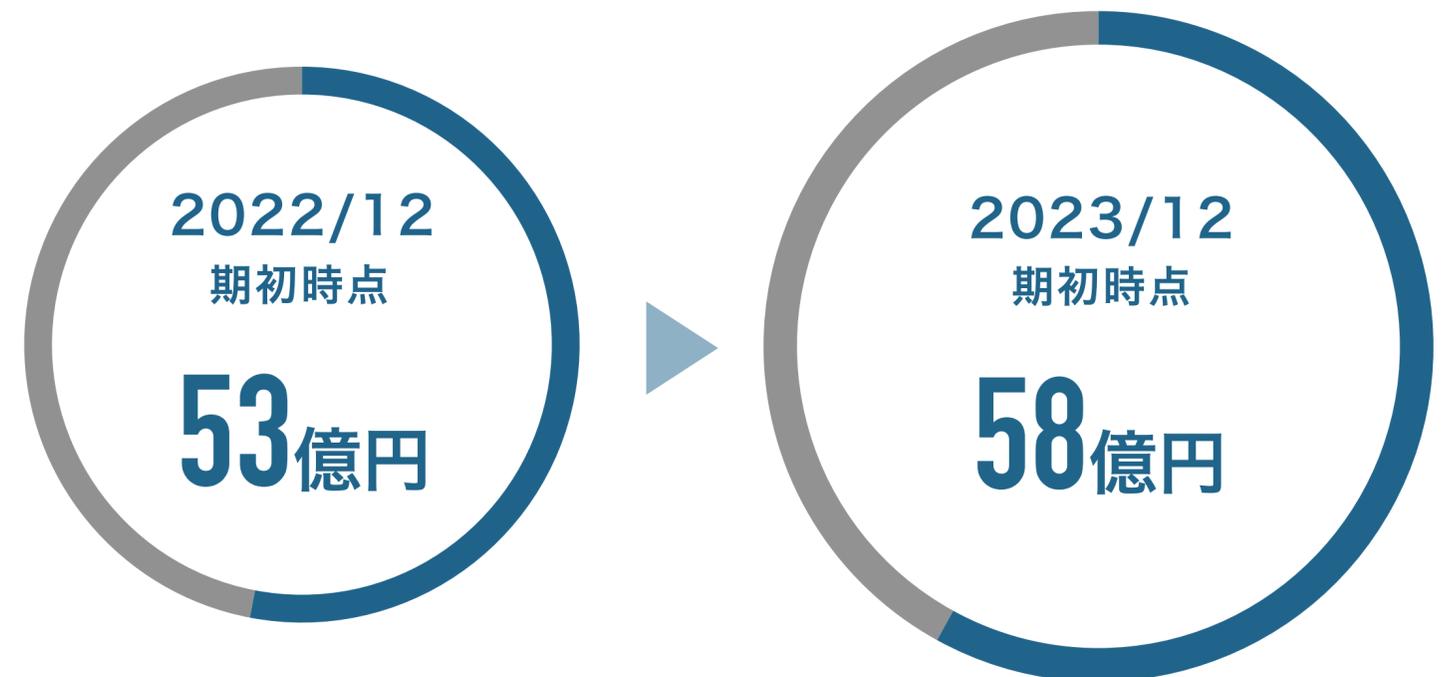
週平均引合い額及び獲得率の予想を考慮すると、より拡大するものと予測

プロジェクトストックの状況（期初）

従来型スキーム



目標管理スキームを修正



※決算短信での発表数字

2023年12月期 業績見通し

陣容の拡大や、新ブランド「DAFT about DRAFT」を含めたマーケティング活動等成長のための費用投下を積極的に行いつつ、一定水準の利益確保を実現する

通期業績予想

(百万円)	業績予想 (2月14日開示)	2022年12月期 実績	増加額	前期比
売上高	10,000	8,287	+1,713	+20.7%
営業利益	480	108	+372	+427.0%
経常利益	466	87	+379	+508.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	300	21	+279	+1420.7%

04

SHAREHOLDER RETURNS

株主還元策

株主還元

成長資金を留保しながら、株主への還元を継続

配当予想

	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たりの 当期純利益	1株当たりの 配当金(期末)	配当性向
2022年12月期 (予定)	21 _{百万円}	2.10 _円	5.0 _円	238.1%
2023年12月期 (予想)	300 _{百万円}	29.89 _円	5.0 _円	16.7%

株主優待

100株以上	1,000 _円 分の当社デザインQUOカード
1,000株以上	2,000 _円 分の当社デザインQUOカード

DRAFT®

補足資料

DRAFT®

Mid-term Business Plan and Potential Growth

中期経営計画

事業計画及び成長可能性に関する事項の進捗

Contents

Updated
01

COMPANY PROFILE
会社概要

Updated
02

COMPETITIVE ADVANTAGES
競争優位性

03

MARKET ENVIRONMENTS
市場環境

Updated
04

MID/LONG TERM PLAN
中長期経営目標

Updated
05

GROWTH STRATEGIES
成長戦略

※市場環境につきましては、コロナ禍の影響により的確なデータ抽出が難しいことから
前回ご説明時の資料のままとしております。

APPENDIX
参考情報

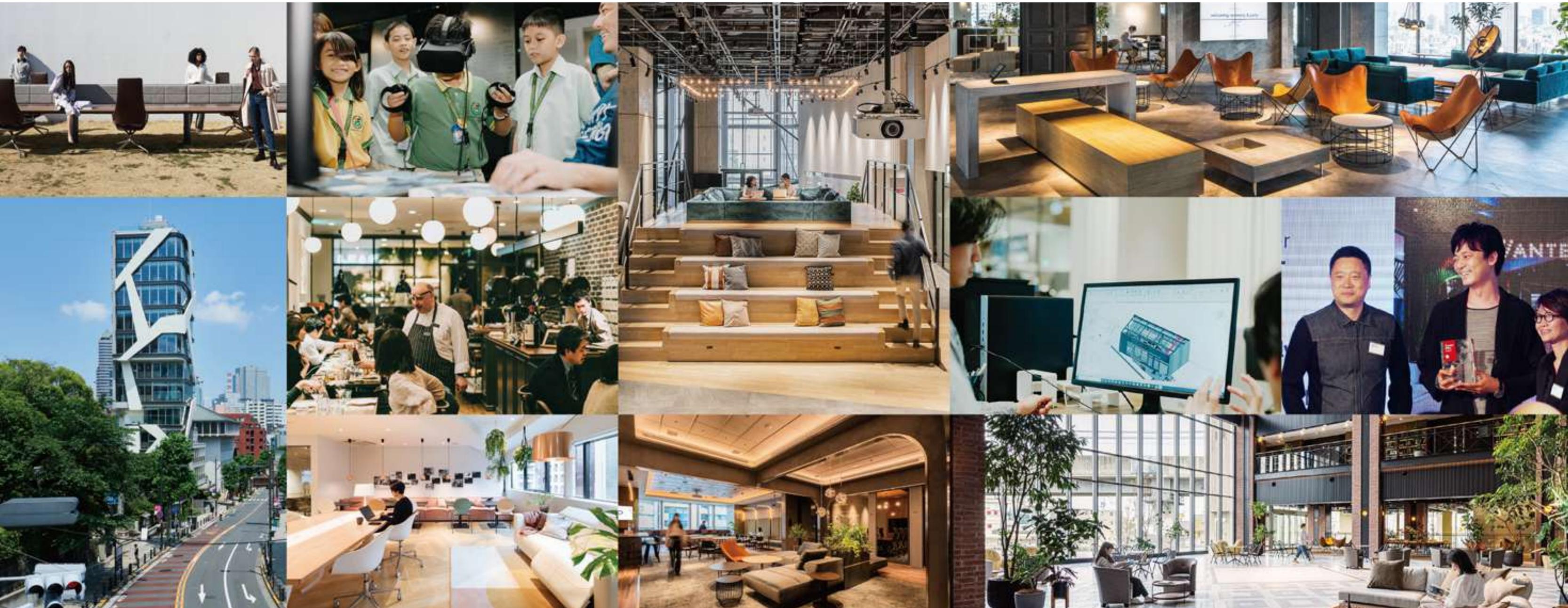
01

COMPANY PROFILE

会社概要

理念、沿革、ボードメンバー、事業内容、
業績状況など基本情報をご紹介します。

ALL HAPPY BY DESIGN



DRAFTはデザインの力で世界にHAPPYの循環をつくり出し、社会に貢献することを目指すデザイン会社です。

We are a design firm who strives to contribute to society by creating a happy spiral through the power of design.

COMPANY PROFILE

会社概要

社名
DRAFT Inc. / 株式会社ドラフト

設立
2008年4月1日

従業員数
181名 (2022年12月末時点)

資本金
¥807,061,134-

上場市場
東証グロース (5070)

2008

山下泰樹(26歳)小さなデザイン事務所を立ち上げ

26歳の若手デザイナーであった山下泰樹が小さなデザイン事務所DRAFTを立ち上げる。スタッフ数はわずか2名。

2009 2010 2011

日本では未成熟であったオフィスのデザインを開拓し、急成長していた新興企業とともに快適で心地よいワークプレイスを設計。

日本のオフィス
デザインの先駆者

2012 人気は全国へ



全国から問合せを受け、瞬く間に50名規模へ成長。関西のクライアントからの熱い要望によりレトロな建物が建ち並ぶ大阪・中之島に新拠点をオープン。

2013

3D技術の拡充と成長

プロジェクトの成長に対応すべく、セブ島に3Dモデリングのデザインスタジオ「D-RAWRITE」を構える。業務効率化が急進。



ワークプレイス
デザインが世界中の
トレンドに

2014 デザイン領域拡大

商空間インテリアが人気に。クライアントの海外進出に合わせたブランド刷新など、空間設計に留まらないデザイン提案で領域が拡大。



2015

アジアパシフィック No.1

山下のデザインが国内外で高評価を受け、デザイン賞を多数受賞。ハーマンミラー主催のLiveable Office Award (S&M部門)ではアジア太平洋の最優秀賞を受賞。



2016

社員100名の デザイン会社へ

日本のデザイン会社としては異例の100名規模へ成長。表参道にショールームを兼ねたオフィスをオープン。

組織力を高めつつ
クリエイティブを
さらに追求

新ブランド201°を立ち上げプロダクトデザインも本格化。機能的でユニークなデザインが話題に。



201° (NIHYAKU-ICHI-DO) IIOI°

世界的なデザインメディア主催のBest of Design Awardで最優秀賞を受賞。



2018 2019

有名企業からの注目



大手企業の依頼も増加し、プロジェクトはさらに大型化。高い専門性と幅広いデザインサービスにより業界をリードするデザイン会社へ。



さらに建築デザインへ 広がるDRAFTの領域

デザイン領域はますます広がり、建築デザイン分野にも拡大。インテリアからスタートし約10年で新築ビルの建築設計まで手がける稀有なデザイン会社へ成長。



2020

デザイン会社として 東証マザーズへ初上場



クリエイティブの原動力を強化

2020年3月に東証マザーズへ上場。挑戦的な大型案件へ対応する基盤を形成し、世界をフィールドに戦うデザイン会社へ。

2021 2022

デザインは都市へ

大手デベロッパーや地方自治体と連携したプロジェクトが増加し、デザイン領域は建築や都市構想へ拡大。

60
億円突破

9 month Period

9ヶ月
決算

80
億円突破

15期



Yamashita Taiju.

YAMASHITA TAIJU DESIGN

DESIGNER / DRAFT Inc. CEO

山下 泰樹

デザイナー / DRAFT Inc.代表

1981年生まれ、東京都出身。

武蔵野美術大学造形学部中途退学、豪州BOND University修了。

2008年にDRAFT Inc.を設立。インテリアデザインから建築設計、
プロダクトデザイン、ブランディングまで幅広い領域を手がけるデ
ザイナー。Best of Year(米)、SBID(英)、INSIDE Award(独)など海
外のデザイン賞を多数受賞するなど、気鋭のデザイナーとして国際
的評価も高い。桑沢デザイン研究所 非常勤講師。



Our Team

ボードメンバー



長谷川 幸司

取締役

明治学院大学卒業。1971年大日本印刷株式会社に入社。ジャスコ株式会社(現イオン株式会社)を経て、1993年現イオングループである株式会社タカキューへ移籍。2004年同社取締役就任。2013年に当社に入社し常務取締役就任。COOとしてスタッフ及び事業の統括を行った。



荒浪 昌彦

取締役

東京大学経済学部を卒業し、株式会社博報堂入社。経営企画、経理財務、上場準備に携わる。2018年に当社執行役員に就任。経営企画部ゼネラルマネジャーを経て同年取締役就任。経営企画や経理財務に加え、IR事務局を担当した。



結城 大輔

社外取締役

東京大学法学部卒業、米国USC Gould School of Law 修了。2000年日本銀行の法律事務所出向を経て2004年のぞみ総合法律事務所パートナー就任。2018年当社社外取締役就任。弁護士・ニューヨーク州弁護士。公認不正検査士。



平田 満

常勤監査役

中央大学法学部卒業。25年間鉄鋼、14年間IT企業に勤める。鉄鋼企業では製鉄所の生産管理から国内営業業務を幅広く担当。IT企業では人間の活動に合った空調や照明を制御するソリューションの提案に従事した。2012年同IT企業で常勤監査役就任、2018年当社常勤監査役に就任。



佐田 俊樹

監査役

名古屋大学経済学部卒業、米国University of Chicago 修士(MBA)。証券・資産運用業界に長らく身を置き、2010年以降は監査役一筋でデザイン関係企業3社を含む計9社の監査役を務める。2018年当社監査役に就任。米国公認会計士。米国証券アナリスト。



大村 尚子

監査役

中央大学卒業。1997年監査法人トーマツ入所。多種多様な業種の金商法・会社法監査をはじめ米国基準、IFRS基準の会計監査や公開支援業務等に従事。2013年IT企業社外監査役に就任。2019年当社監査役に就任。会計・監査およびファイナンスの知見を持つ。公認会計士。



三代 まり子

監査役

米国UTSA (BBA) 卒業、早稲田大学修士。統合報告エキスパート。大手監査法人を経て、国際統合報告評議会テクニカル・マネージャーとして国際統合報告フレームワークの開発に関わる。2016年RIDEAL株式会社を設立。2019年当社監査役就任。米国公認会計士。

Our Team

執行役員



三木 ひとみ
上級執行役員 COO



熊川 久貴
上級執行役員 CFO



那須俊貴
上級執行役員 CMO



高橋 紗枝子
執行役員



木村 俊介
執行役員



小澤 紀之
執行役員



石山 暁寛
執行役員



吉岡 隆之
執行役員

Our Team



デザインを中心としたクリエイティブ組織

国内外で約180名が働くDRAFT。山下泰樹を中心にミレニアル世代が活躍し、その半数以上がデザイン部門に所属しています。クリエイティブと組織力を両立するユニークな組織は、人々を惹きつけるデザイン力の源になっています。

We are an Integrated Design Firm

DRAFTはALL HAPPY BY DESIGNの理念のもと、
次世代の日本をリードするデザイン会社です。

1枚のファブリックから、100年後の都市まで

DRAFTの主なフィールドはインテリア・建築のデザインです。1枚のファブリック選びから都市計画に至るまで、幅広い活動領域でデザインを手掛けています。都市のシンボルから行動に影響を与えるソリューション作りまで、デザインを中心に世の中をより良くしていく会社です。

当社はデザイン事業を100%とした単一セグメントです。

DESIGN BUSINESS

総合デザイン会社としての
価値の収益化

相互に作用

山下泰樹のデザインによる
価値の創造

REGULAR
PROJECT

PROPOSAL
PROJECT

LEADING
PROJECT

Office, Workplace Design

働く環境のデザイン

Retail, Hospitality Space 商空間・ホテル・ラウンジ等のデザイン

General Interior Design 環境デザイン

Architecture 建築デザイン・都市構想

Creation 世の中にないものの発信・提案

Communication Design ブランドデザイン グラフィック ソーシャルデザイン

Branding

Graphic Design

Tech

WORKPLACE & DESIGN

日本のオフィスに、デザインを。

山下泰樹がDRAFTを設立した2008年当時、日本のオフィスは経済合理性を優先した詰め込み型が一般的でした。「人が長い時間を過ごす場所だからこそ、居心地のよい空間をつくりたい」そんな思いから、山下は数多くのワークプレイスをデザインし、快適でモチベーションを刺激し、エンゲージメントを高め、付加価値を生むオフィス空間を日本に広めてまいりました。



SonyMusic

YAHOO!
JAPAN



GENIEE

dip
Labor force solutions company

CyberAgent

ADASTRIA

CONDÉ NAST
JAPAN

WingArc 1st
The Data Empowerment Company

TORIDOLL→

PKSHA
TECHNOLOGY

コロプラ

GA TECHNOLOGIES

yappli

Wantedly





INTERIOR & DESIGN



デザイン性と専門技術の追求で広がる 新たなインテリアデザインの可能性

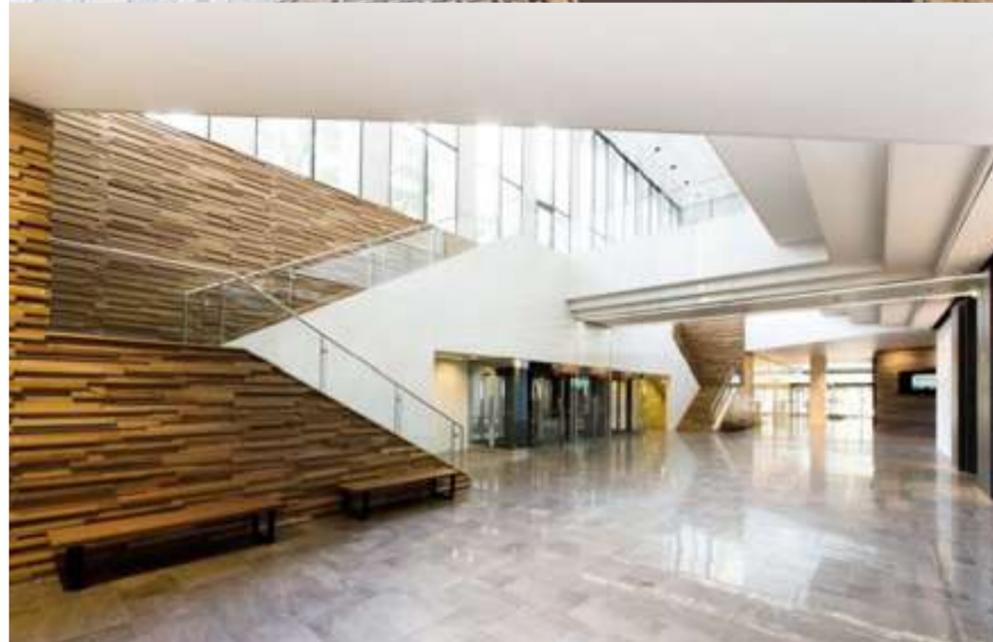
プロジェクトが数多くのデザイン賞を受賞するようになると、ホテルや商業空間、コワーキングスペースなどライフスタイル全般に関わるインテリアデザインへと領域が拡大。データの活用や専門技術の向上により、心躍るショッピング体験、よりフレキシブルな働き方に対応するワークプレイスなど、仕事も生活もより良い時間を過ごせるインテリアデザインを追求してまいりました。

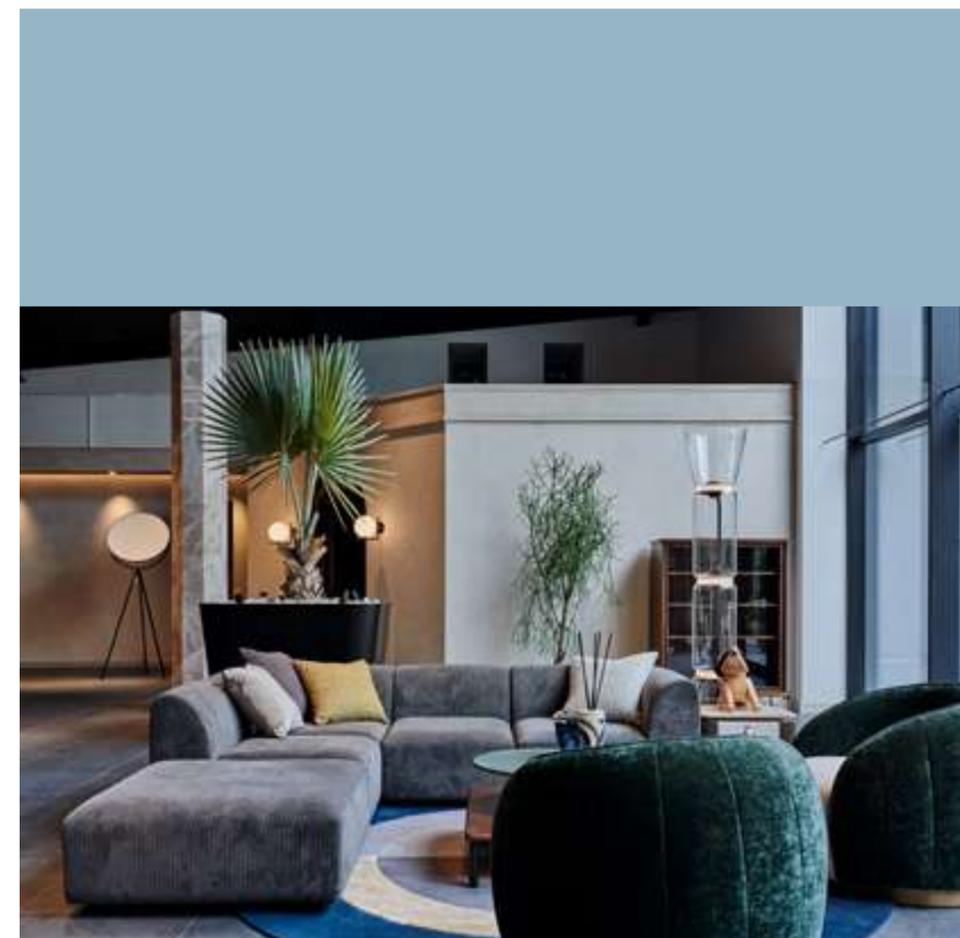


ARCHITECTURE & DESIGN

デザインは、建築、そして都市全体へ

山下泰樹が手がけるデザイン領域は急成長を続け、建築分野にも広がっています。人の視点を重視したヒューマンスケールの建築、3D技術を応用した建物全体のリデザイン、さらにサステナビリティや次世代の課題に挑戦する都市計画までデザインの範囲が拡大しています。





SOCIETY & DESIGN

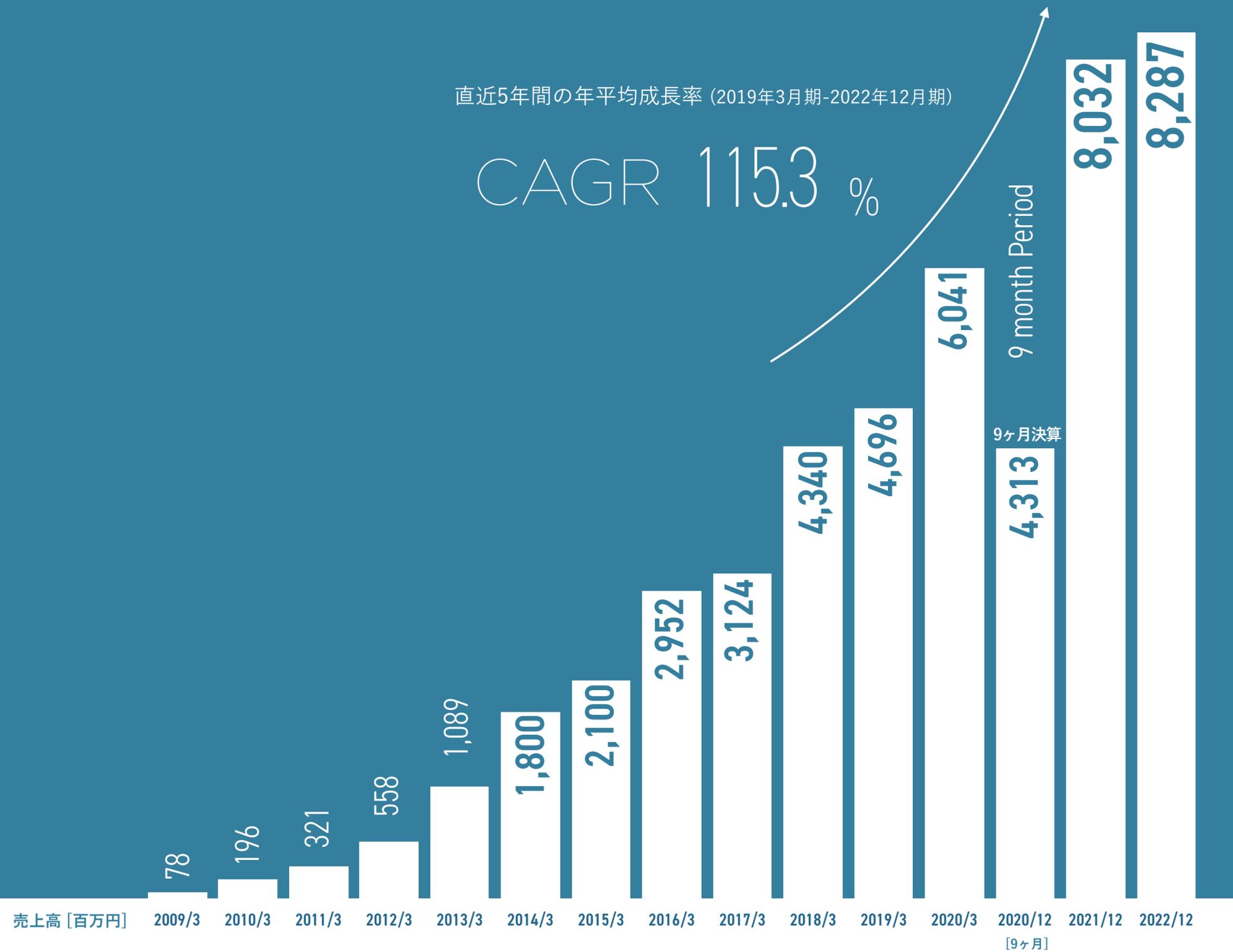
新領域への拡張とデザイン性の追求により
社会をより良くする総合デザインファームへ

インテリアや建築デザインの追求から、人の手に触れるプロダクトのデザイン、タッチポイントとなるウェブサイトの設計、ブランディング戦略まで、社会に関わるあらゆる領域をデザインしています。DRAFTは常に新たなデザインの可能性に挑戦しながら、社会をデザインにより良い場所へ変えていくことを目指しています。



直近5年間の年平均成長率 (2019年3月期-2022年12月期)

CAGR 115.3 %



Our Sales

創業から15期継続して増収*
着実な業績拡大を実現しています

高いデザイン性と企画提案力によって設立から順調に業績を拡大。DRAFTにしかできない先進的なデザイン提案を強みに、売上高は順調に増加しています。

※決算期変更のため9ヶ月の変則決算となった2020年12月期を除く

※CAGR=Compound annual growth rate 年平均成長率

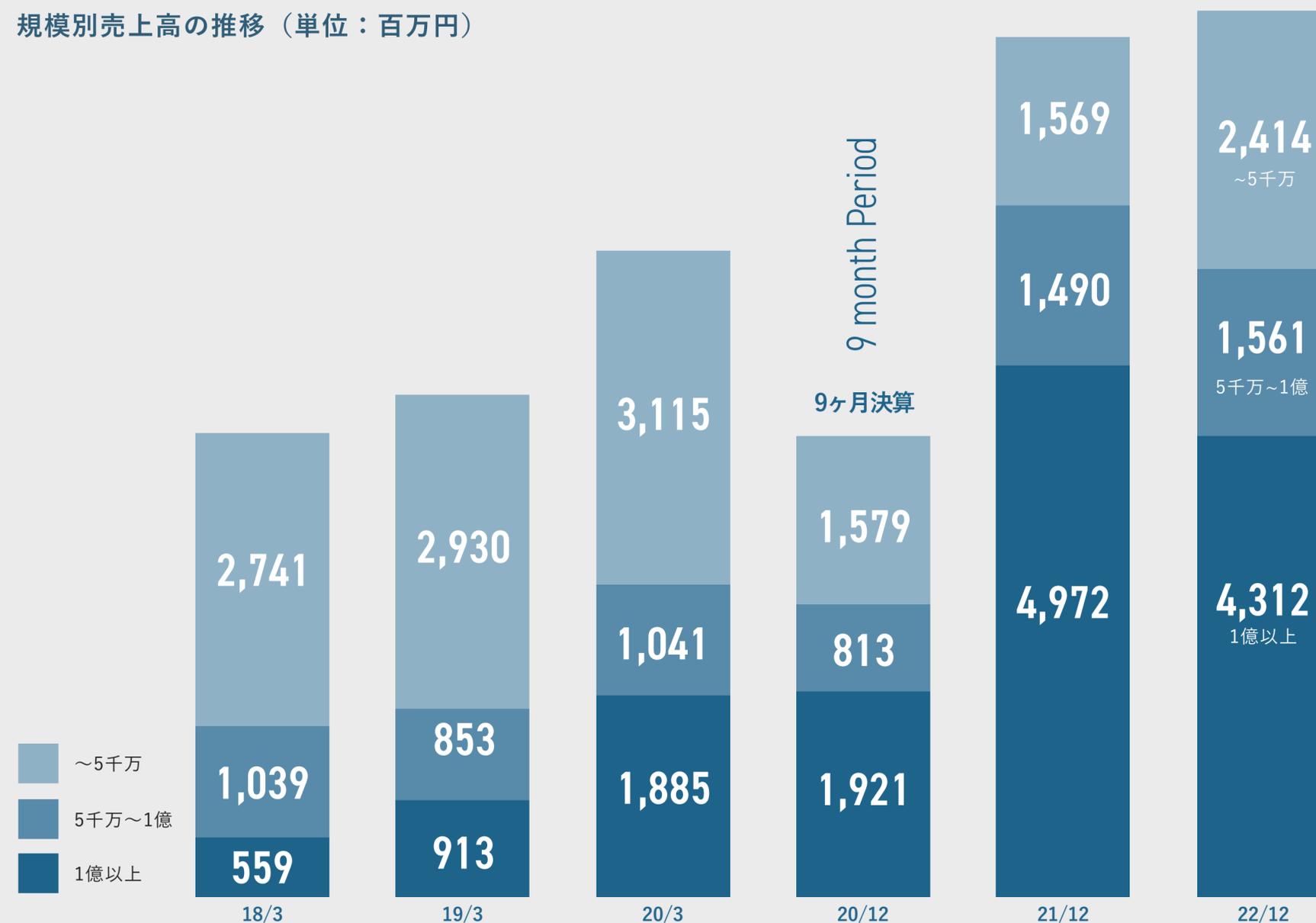
Sales by Size

1億円以上の大型案件は減少するも、小型案件が伸長プロジェクトの生産性・効率性は堅調

大型案件の引合いは堅調であったものの、同時に期ずれリスクの高いものや竣工まで期間を要するものも少なくなく、当期計上分だけで見ると減少している見え方となっています。

設計やデザインの業務プロセスは、受注金額や平米数とは必ずしも比例せず、受注金額に10倍の差がある場合でも、業務量は10倍にはなりません。有限なリソースを効率的に活用し、質の高いデザインを実現させるため、引き続き大型案件の獲得を重視していきます。

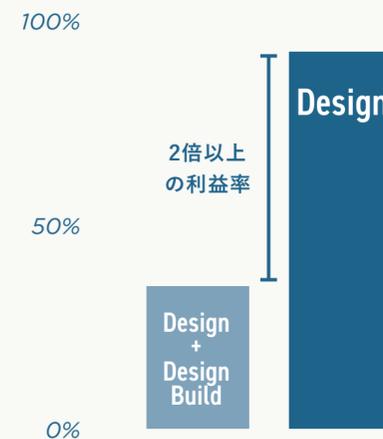
規模別売上高の推移（単位：百万円）



Profit Rate

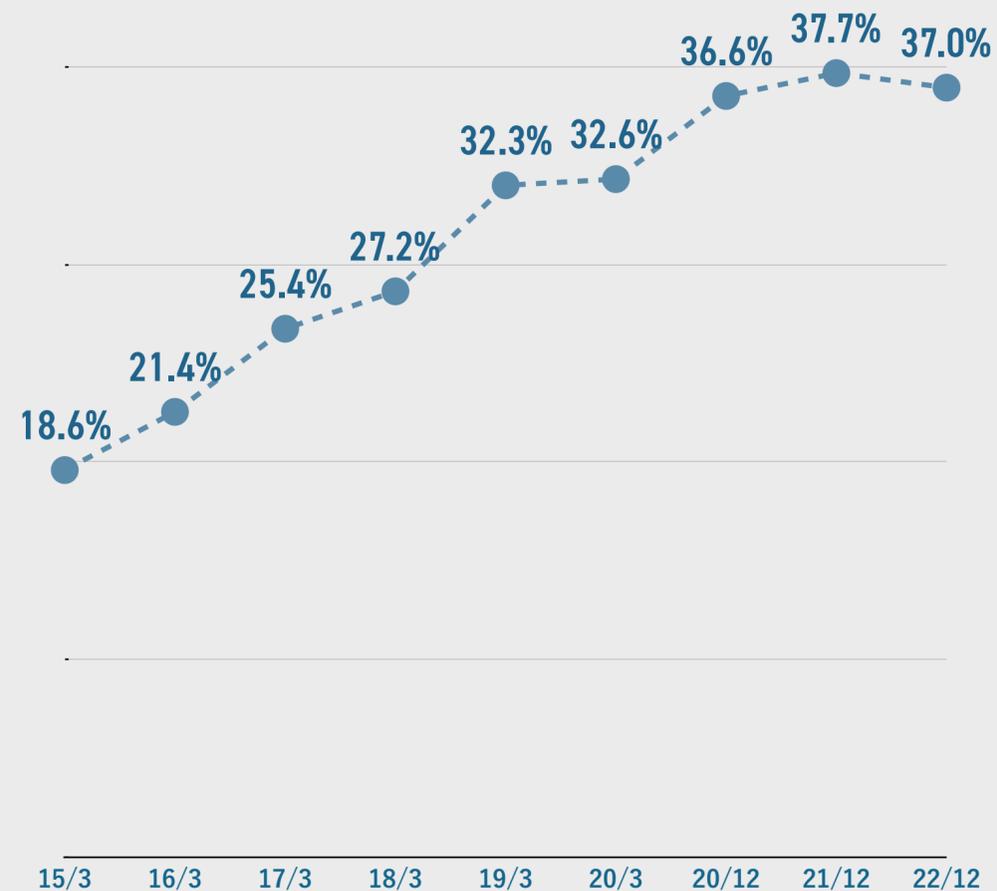
設計デザインPJによる直接利益率の向上へ

設計デザイン単体のプロジェクトでは、外注費を含むデザインビルドプロジェクトと比較して、2倍以上の利益率の確保が可能です。当社では、設計デザインプロジェクトを積極的に獲得し、全体の直接利益率（管理会計上の利益）の向上および利益体質の強化を推進しています。



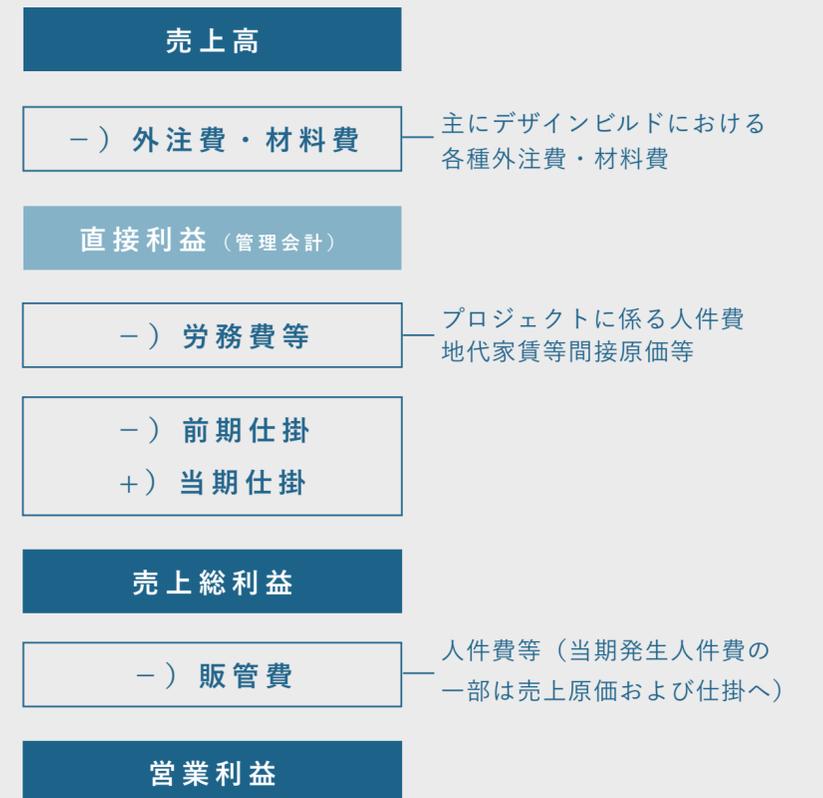
※直接利益率イメージ図
 Design：設計デザインのみプロジェクト
 Design Build：設計デザイン+当社プロジェクトの設計施工

直接利益率(管理会計上)の推移



※上記は当社管理会計上の数値を記載しております。
 ※会計管理計上、売上高から直接外注費・材料費を控除した利益を直接利益率としております。
 ※買収した旧株式会社サティスワンが行うブランドデザイン事業及びRecord運営にかかる売上高・利益は含んでおりません。

収益構造

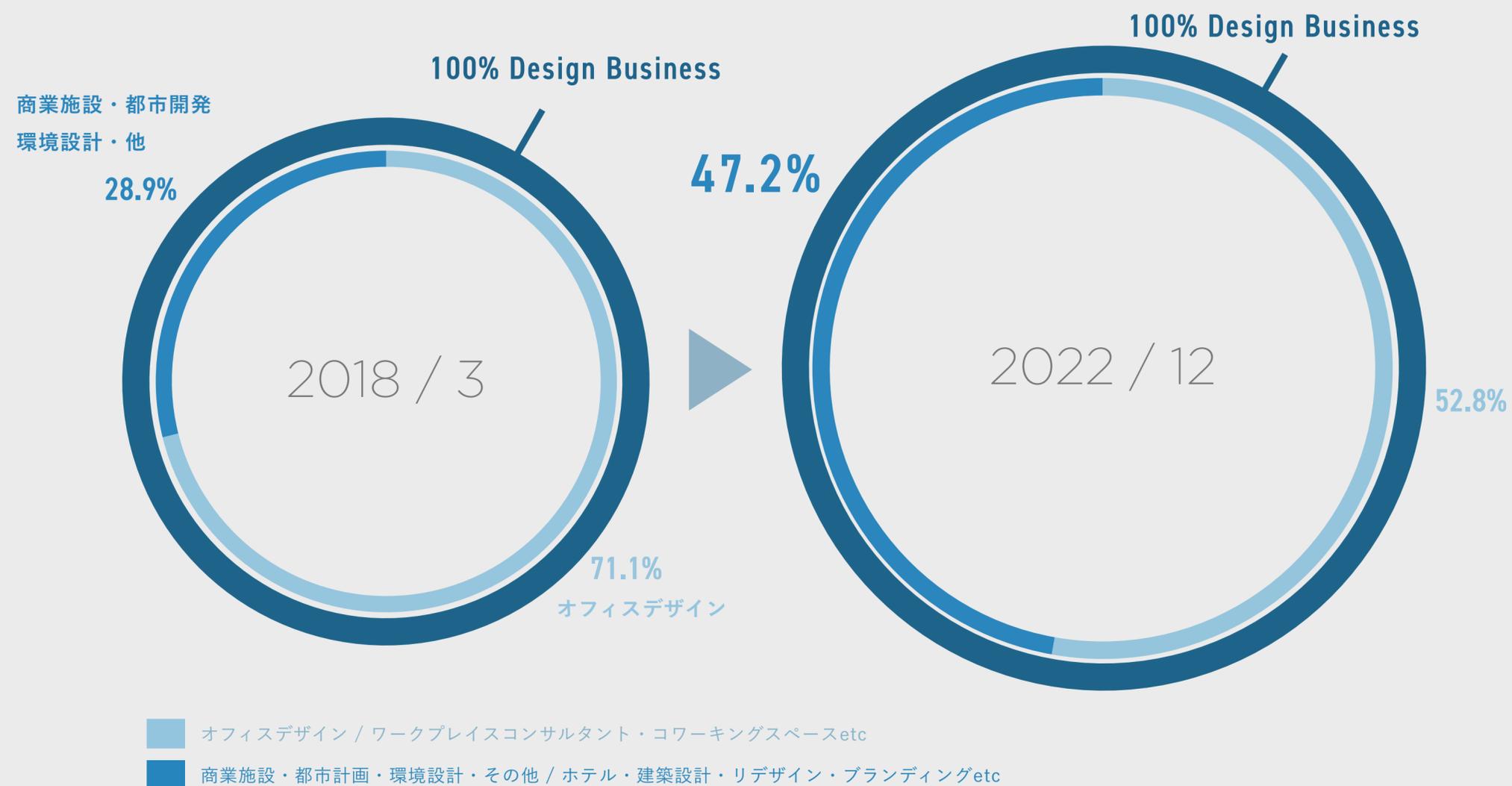


Sales by Category

オフィスデザインを基盤に
都市計画・環境設計領域が拡大中

当社グループの事業は「デザインビジネス」の単一セグメントですが、売上高の内訳のうち、建築設計や建物のリデザインを含む「都市計画・環境設計・その他」が大きく拡大しております。

デザインビジネスの売上高構成比の推移（単位：百万円）



02

COMPETITIVE ADVANTAGES

競争優位性

当社では、設計デザインを事業とする類似企業は存在するものの、デザインビジネスの事業モデルに完全に一致する競合他社はいないと考えています。ここでは当社独自の優位性をご紹介します。

COMPETITIVE ADVANTAGES

競争優位性

1.

常にアップデートを続けるデザイン

進化を止めない山下泰樹のデザインと企画力

DRAFTを率いる山下泰樹のデザインは、個人の作家性に囚われません。時代に合わせて常にアップデートを続け、デザインによる新たな価値創造を仕掛けています。その裏付けとして、山下が手がけるプロジェクトは世界トップレベルのデザイナーや建築家が参加するデザインアワードを数多く受賞し、国際的な評価を得ています。



Best of Year Award Ceremony



University of the Arts London 特別講義



日経新聞社主催 NIKKEI Real Estate Summit



桑沢デザイン研究所講義 特別講義

日本のデザイン業界をリードする存在として

第一線で活動する山下のもとには、デザイナーの視点を求める様々な業界から依頼が飛び込みます。家具メーカーやデザインメディアからの取材依頼に限らず、日経新聞社や教育機関からの登壇依頼など、未来のデザイン業界を担う存在として高いプレゼンスを有しています。

近年の事例

- ・ University of the Arts London 特別講義
- ・ 日経新聞社主催 NIKKEI Real Estate Summit
- ・ Herman Miller Reach
- ・ OLIVER ONLINE SEMINAR
- ・ NHK Eテレ Design Talks Plus
- ・ 桑沢デザイン研究所 非常勤講師
- ・ 青山学院大学大学院 国際マネジメント学科特別講義
- etc...

COMPETITIVE ADVANTAGES

競争優位性

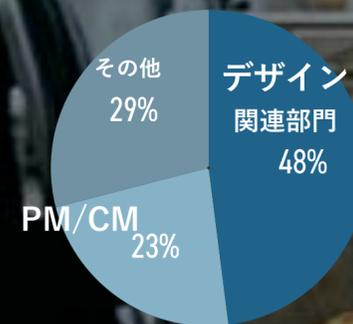
2.

ノウハウを体系化し継承する、強い組織モデル

山下泰樹のリードのもとで拡張するプロジェクトは、ノウハウの体系化や継続的なプロジェクトプロセスの改善を通してデザインチームへと継承され、組織全体で領域の拡大を支えています。

また、DRAFTに在籍する国内外の181名(2022年12月末時点)のスタッフのうち、約6割がデザイン関連部門に所属し、2割がデザインを実現するプロジェクトマネジメント部門に所属。多様なデザインチームと確かなプロジェクト体制により、大規模なプロジェクトにおいてもデザイン性の高いアウトプットを実現しています。

DESIGN BUSINESS



[新卒採用人数]	
2020年	9名
2021年	13名
2022年	13名
2023年	17名予定
近年の採用倍率は約30倍	

COMPETITIVE ADVANTAGES

競争優位性

3.

建築設計デザイン業務のDX化を推進

HEROZ株式会社「自動設計支援AIサービス」の共同開発へ

最先端のAI技術を保有するHEROZ株式会社と設計デザイン業務のDX化を推進する「自動設計支援 AIサービス」の共同開発を継続しています。膨大な図面製作や積算業務を自動化させ、500万人以上の就労者数を誇る建築業界全体にとって利用価値の高いサービスの製品化を目指します。

DRAFT®

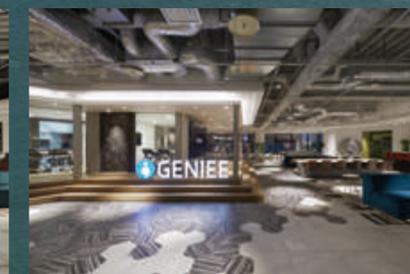
HEROZ
JAPAN

3Dデータを活用した高品質・高効率な設計プロセス

当社では3Dイメージパースを製作するデザインスタジオ「D-RAWRITE INC.」を2013年にフィリピン・セブ島に設立、さらに2022年にはセルビア・ベオグラードにも同じく「D-RAWRITE d.o.o. Beograd」を設立しました。3DモデリングやBIM（Building Information Modeling）など最新のデジタル建築技術を活用した設計業務の効率化を図っています。



3D Image



Photograph

03

MARKET ENVIRONMENTS

市場環境

“益々拡大するデザインの可能性”

Value of Design.

世界中が注目するデザインのビジネス価値

優れた製品やサービスが市場にあふれ、企業間の競争が益々激しくなるなかで、デザインは企業の経営資源として大きな注目を集めています。InVision社が世界規模で実施した調査によると、世界77カ国2,200社以上の企業・団体のうち、約70%がデザインを経営に活用していると回答しています。参加団体の42%は収益の向上に貢献したと回答しており、デザインが満足度の向上だけでなく、業績にも良い影響を与えていることが報告されています。

約2倍の株価成長・収益成長率・株主リターン

米Design Management Instituteの調査では、デザインを重視する企業の株価は、S&P500全体と比較して2.1倍もパフォーマンスが高いことが報告されています。大手コンサル会社マッキンゼーは、デザインと業績の関係性を調査し、デザインを活用する企業は業界のベンチマークと比べて収益成長率と株主リターンが約2倍高いことを実証しました。このように、事業成果に対するデザインの貢献度が数値でも証明されはじめています。

デザインが経営へ与えるインパクト

出所: InVision, New Design Frontier

サンプル数: 2,229社

顧客満足度の向上 71%

収益の向上 42%

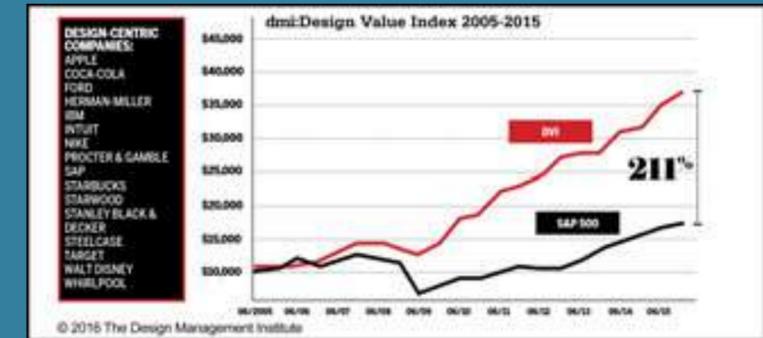
ブランド価値の向上 39%

コンバージョン率の向上 35%

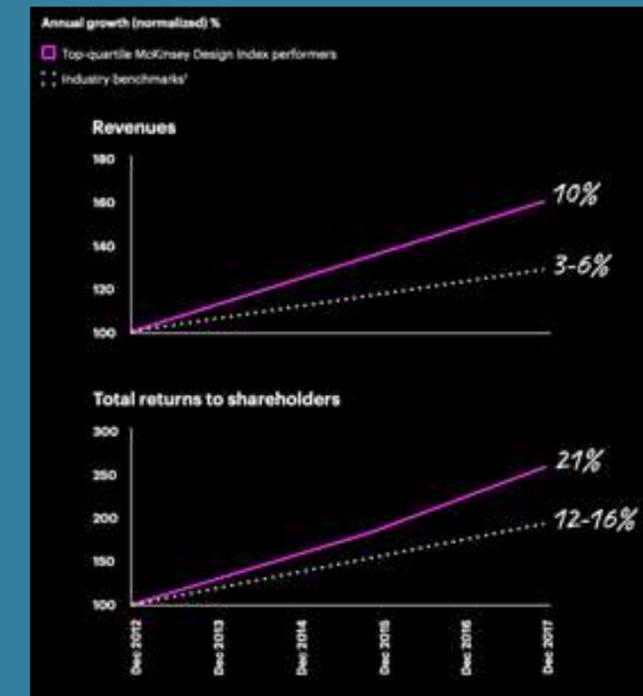
社員の作業効率の向上 33%

新市場参入への効果 25%

「Design Value Index 2015」出所 Design Management Institute



デザイン重視企業の株価は S&P500と比較して10年で2.1倍の成長



対平均で約2倍の 収益成長率と株主利回り

出所: McKinsey Design, The Business Value of Design, Oct 2018

サンプル数: 300社

Professional Service Global Market

世界のデザイン関連マーケットは 2025年には約600兆円の巨大市場へ成長見込み

世界的な需要の高まりを受けて、デザイン関連市場は毎年拡大を続けています。リサーチ団体Business Research Company社の調査によると、広告宣伝やコンサルティングを含むデザイン関連（プロフェッショナルサービス）市場は、2020年にコロナの影響で一時的に弱まったものの、2021年には3.9兆ドル（約450兆円）とコロナ前の水準に戻ると予想され、2025年には5.2兆ドル（約600兆円）まで成長すると見込まれています。

建築デザイン・技術および専門デザイン市場も拡大見込み

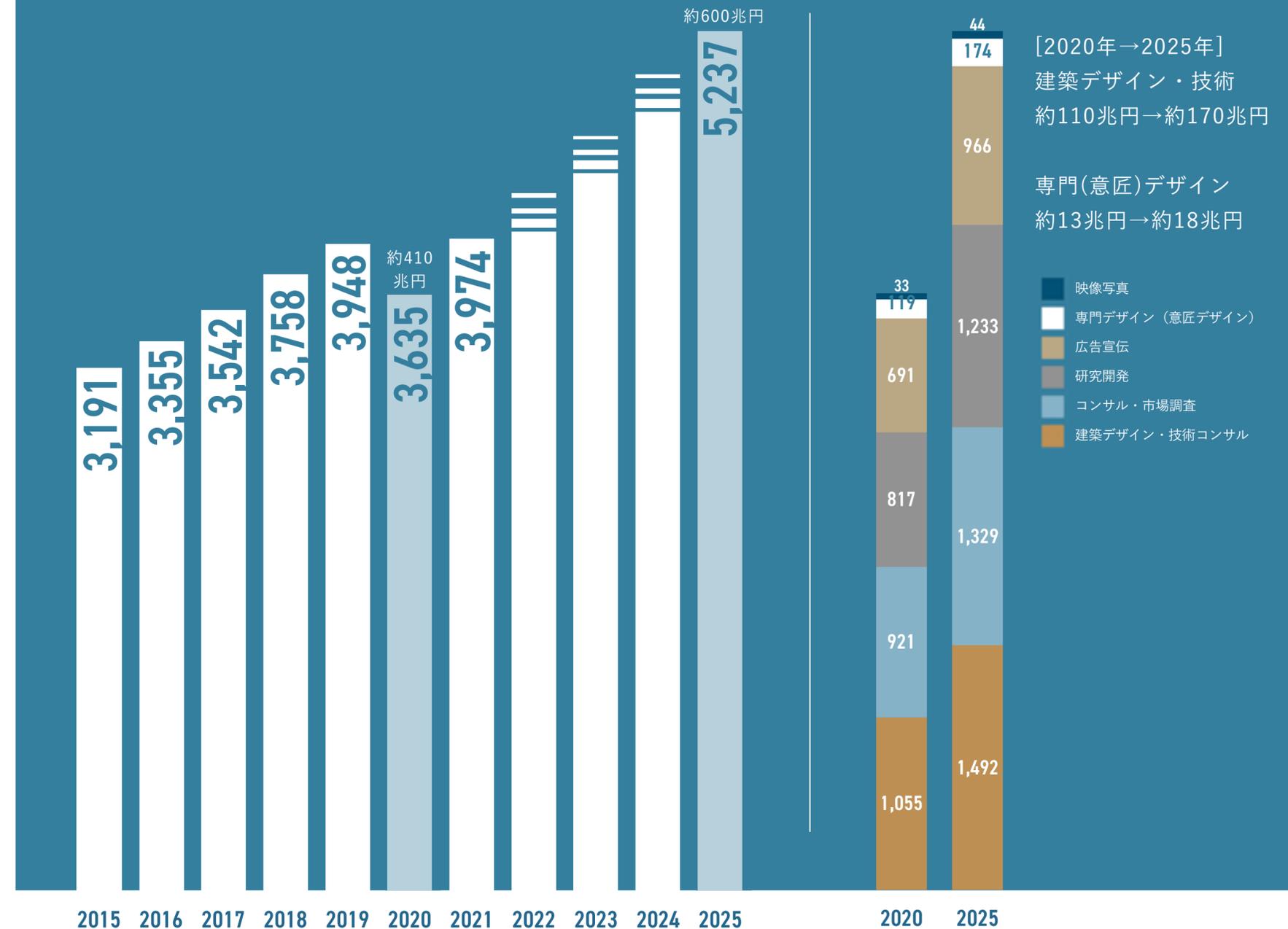
同市場の約29%を占める建築デザイン・技術コンサル分野は、2020年の約110兆円から2025年には170兆円まで拡大すると予想されています。さらに、基本設計や製品の企画開発、グラフィックなど意匠デザイン単体の市場は年平均8.2%の成長率で拡大し、2020年に約13兆円だった市場は2025年には約18兆円まで成長すると見込まれています。

出所：Business Research Company 『Specialized Design Services Global Market Report 2021: COVID-19 Impact And Recovery』2021年10月発行

プロフェッショナルサービス（デザイン・調査・広告・コンサル）世界市場の規模と構成

領域：建築技術、専門デザイン、研究開発、広告宣伝、映像写真、コンサルティング等

\$ billion



Interior Design Service Global & Japan Market

インテリアデザインサービスも拡大見込み
世界市場は約12兆円から約15兆円へ

英Technavio社のレポートでは、2020年に1,107億ドル(約12兆円)であった世界のインテリアデザインサービスの市場規模は、年平均4.02%の成長率で拡大し、2025年には1,348億ドル(約15兆円)に達すると予想されています。グローバルマーケットの約7%を占める日本国内には、およそ8,500億円のインテリアデザインサービス市場があるとされており、世界市場の拡大とともに国内市場も成長すると見込まれています。

世界市場規模 2020年

約 12 兆円

国内市場 2020年

約 8,500 億円

市場定義：インテリアデザインサービス

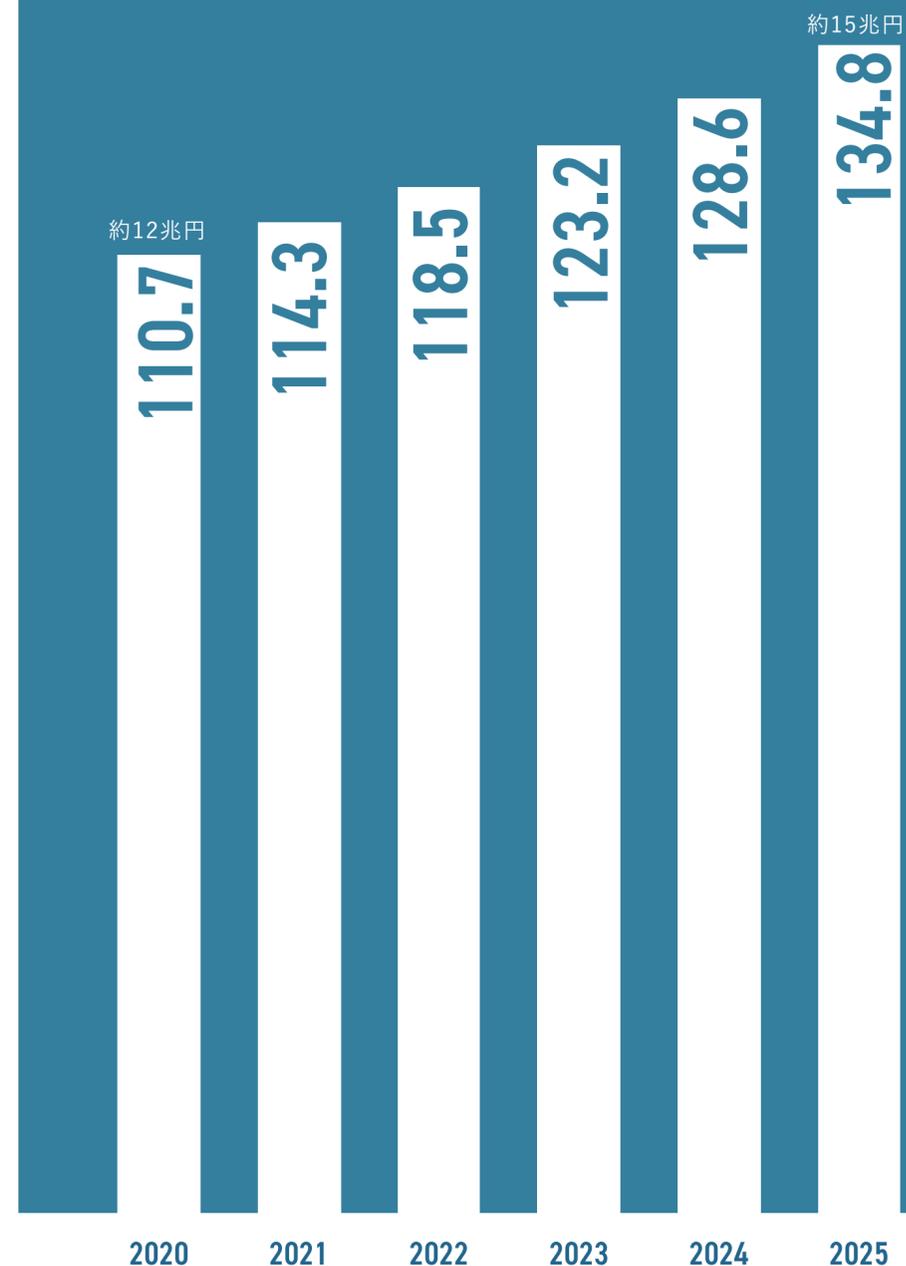
デザイン領域：オフィス、住宅、商業施設、工業施設、政府系施設

サービス：インテリアデザイン&コンサルティングサービス（新築および既存建築物の室内空間におけるフロアプラン、テストフィット、仕上げ、ウォールデコレーション）

出所：TechNavio (Infiniti Research Ltd.) , Global Interior Design Services Market 2021-2025

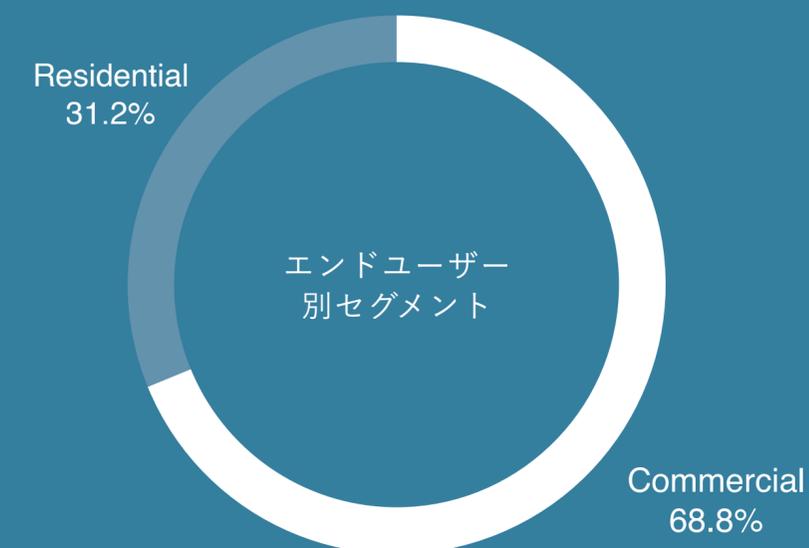
インテリアデザインサービスの世界市場規模

\$ billion



[世界市場の国別シェア 2020年]

	Country	% of global market
1	US	21.0~22.0%
2	China	10.0~11.0%
3	Japan	7.0~7.5%
4	Germany	5.5~6.0%
5	India	4.0~5.0%



04

MID/LONG TERM PLAN

中長期經營目標

LONG TERM TARGET

売上高
300 億円

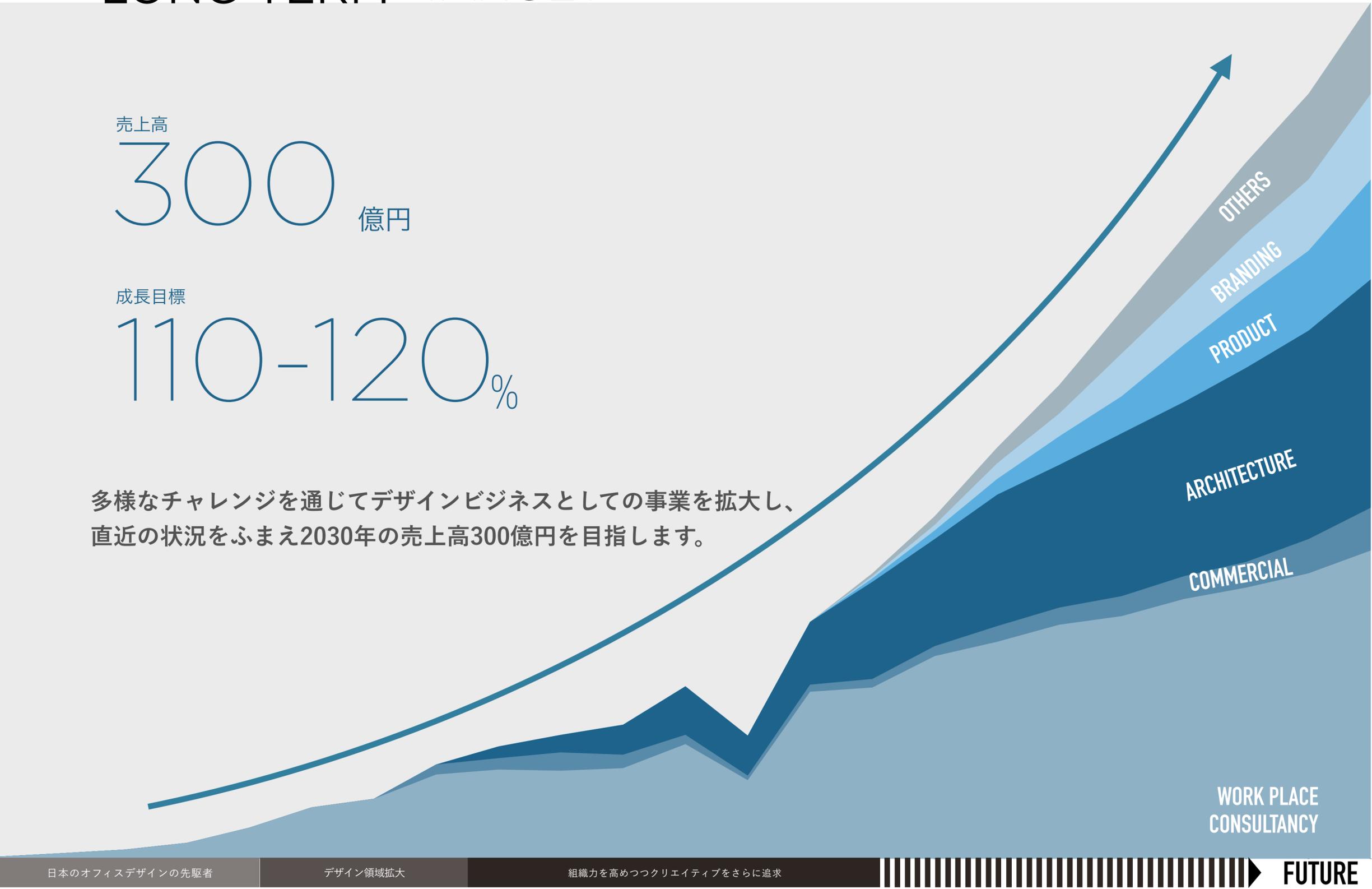
成長目標
110-120%

多様なチャレンジを通じてデザインビジネスとしての事業を拡大し、直近の状況をふまえ2030年の売上高300億円を目指します。

Our Target

長期的な成長目標

世界的なデザインマーケットの拡大およびニーズの高まりから、当社を取り巻く事業機会も高まると考えております。デザインビジネスとして、M&Aを含めたデザインの領域拡大とプロジェクトの規模の拡大を続け、2030年を目処に売上高300億円の達成を長期的な成長目標としています。



※売上高成長および領域構成イメージ

MID TERM TARGET

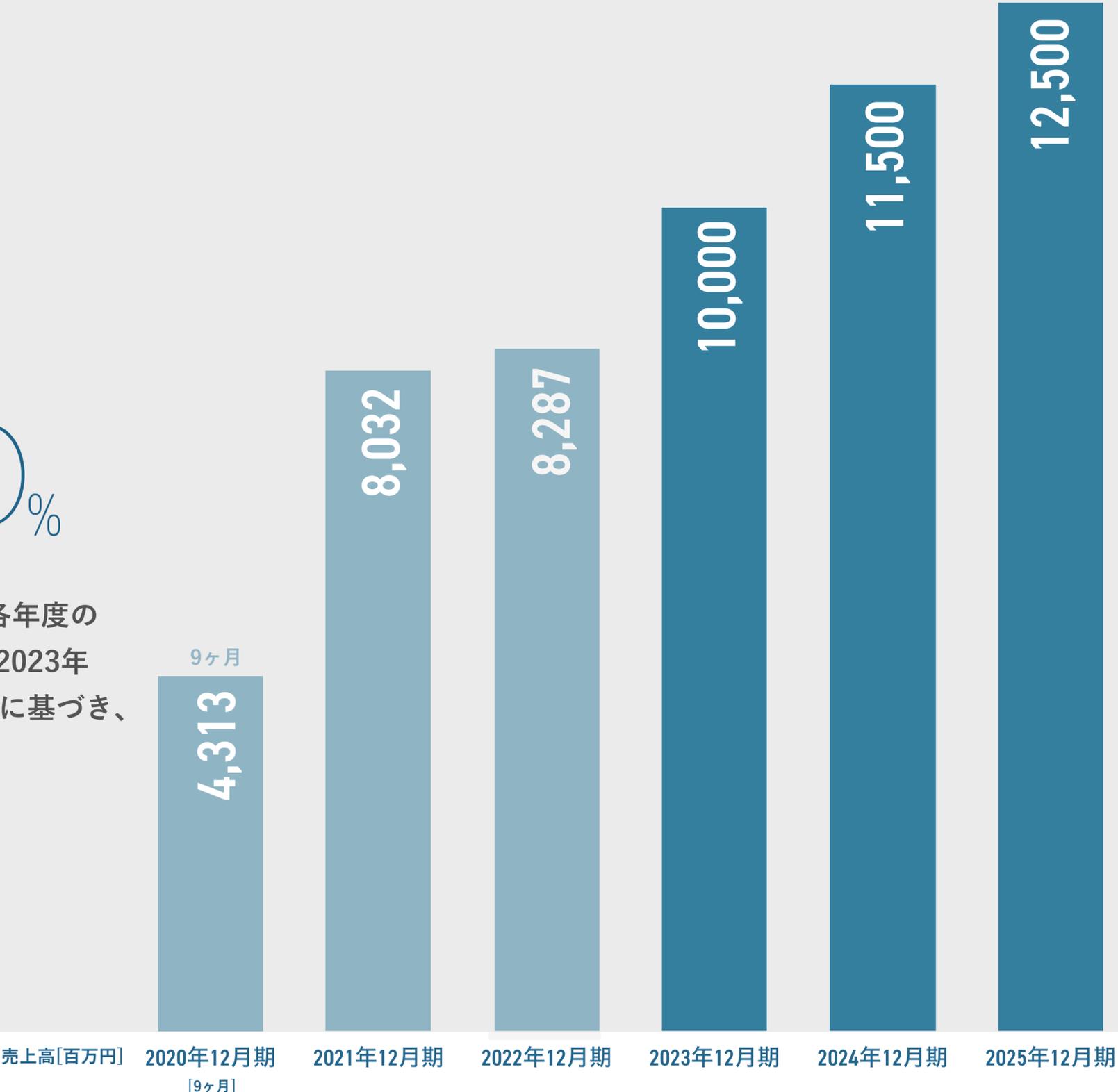
売上高 2023年12月期

100 億円

成長目標

110-120%

継続的な2桁成長を目指す前提で各年度の目標値を算定するとともに、特に2023年12月期は修正版目標管理スキームに基づき、100億円を目標としています。



Our Target

中期的な成長目標

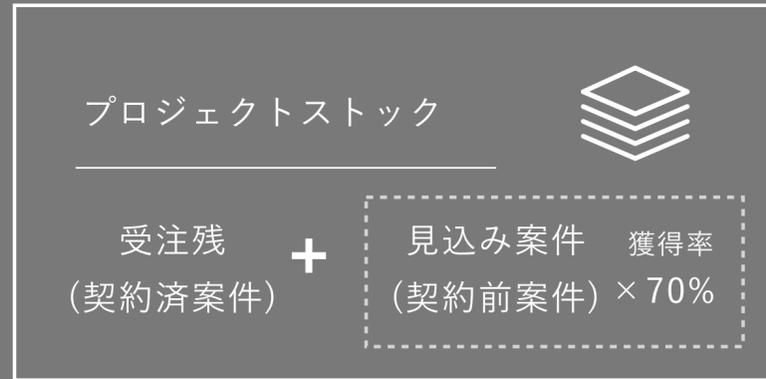
2022年12月期は期ずれの影響もあって足踏みとなりましたが、デザインに対する需要は高く、継続的な2桁成長を目標としています。

STOCK & FORECAST

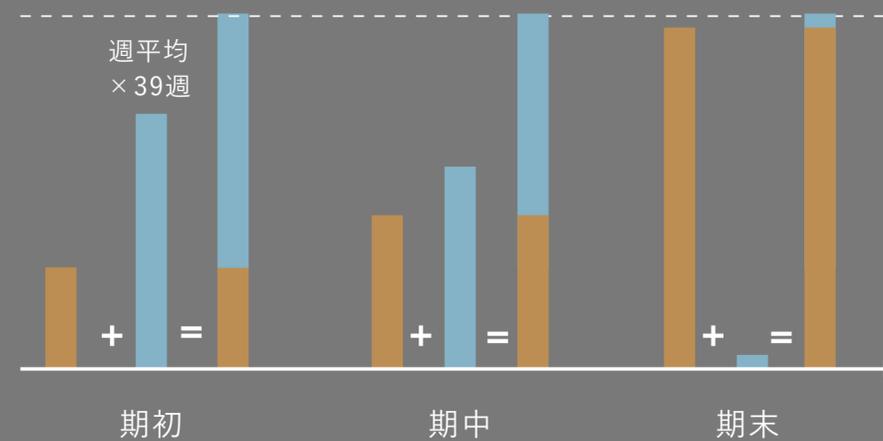
業績を見える化するKPIツール 「STOCK&FORECAST」

契約から引渡しまでの期間が短いデザイン業では、建設業界で一般的に使われる「受注残」と実際の積上がり額に大きな差が発生することがあります。当社グループでは、売上高の予測精度を高めるため、プロジェクトストック・フォーキャスト・獲得率を軸としたKPIツール「STOCK & FORECAST」を使用しています。特に今期は見込み案件の確度向上を徹底し、より精度の高い予測を元に運営しています。

※最新情報は20ページへ記載



DRAFTでは、期中に売上計上できる受注残に、受注の可能性が高い見込み案件を足した「プロジェクトストック」を積上がりの指標としています。見込み案件にはコンペの結果待ち、特命やリピートで依頼があるが契約を終えていない案件等を含んでおります。また、見込みの精度向上を行うことで獲得率は従前の水準を継続しています。



+

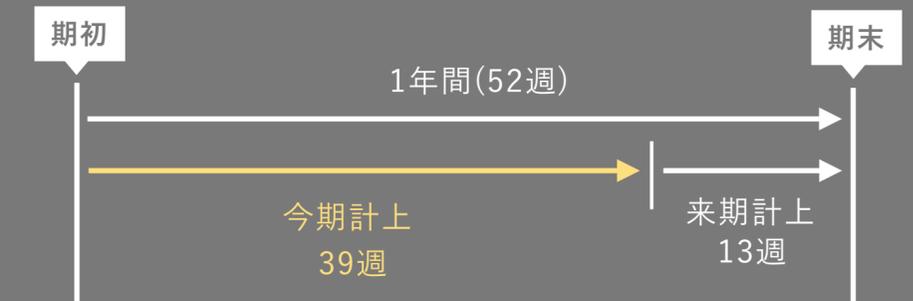


過去の案件引合いの統計データを元に、ヒストリカルフォーキャストとして未来の1週間あたりの引合い額を予測。コンペ勝率や特命率から換算した「獲得率」を掛け、まだ顕在化していないプロジェクトの見込み額を計算します。なお、受注から完成までに3ヶ月以上のタイムラグが発生するため、今期に計上可能な週を39週としております。

=

当期売上高
見込み

フォーキャストの計上時期の考え方



05

GROWTH STRATEGIES

成長戰略



GROWTH STRATEGIES

コモディティ化と戦うために

デザインビジネスの最大の敵は「コモディティ化」です。常に独自性を磨き、ビジネスチャンスをつかむために、アトリエ系デザイン事務所の柔軟性と組織力を融合させる成長戦略を定めています。

DESIGN BUSINESS

総合デザイン会社としての
価値の収益化

相互に作用

山下泰樹のデザインによる
価値の創造

REGULAR
PROJECT

PROPOSAL
PROJECT

LEADING
PROJECT

Office, Workplace Design

働く環境のデザイン

Retail, Hospitality Space 商空間・ホテル・ラウンジ等のデザイン

General Interior Design 環境デザイン

Architecture 建築デザイン・都市構想

Creation 世の中にないものの発信・提案

Communication Design ブランドデザイン グラフィック ソーシャルデザイン

Branding

Graphic Design

Tech

GROWTH STRATEGIES

成長戦略

01.

収益化と価値創造を循環させる
プロジェクトタイプ戦略

コア事業であるインテリア・建築のプロジェクトを3タイプに分類。業績基盤を形成するレギュラープロジェクト、ビジネスチャンスを増加させるプロポーザルプロジェクト、ブランド価値向上につながるリーディングプロジェクトを同時並行的に循環させることで、さらなる事業拡大を目指しています。

総合デザイン会社としての
価値の収益化

山下泰樹のデザインによる
価値の創造

レギュラーPJの着実な獲得が、新たなチャレンジを可能にする業績基盤を形成

REGULAR
PROJECT

PROPOSAL
PROJECT

LEADING
PROJECT

新規提案や挑戦的デザインが評価されることでレギュラーPJの受注増加へ循環

REGULAR PROJECT

受注型プロジェクト

レギュラープロジェクトはクライアントからの依頼により獲得するプロジェクト。人気のオフィスデザインやリピート案件の確実な獲得により、業績の基盤を形成します。

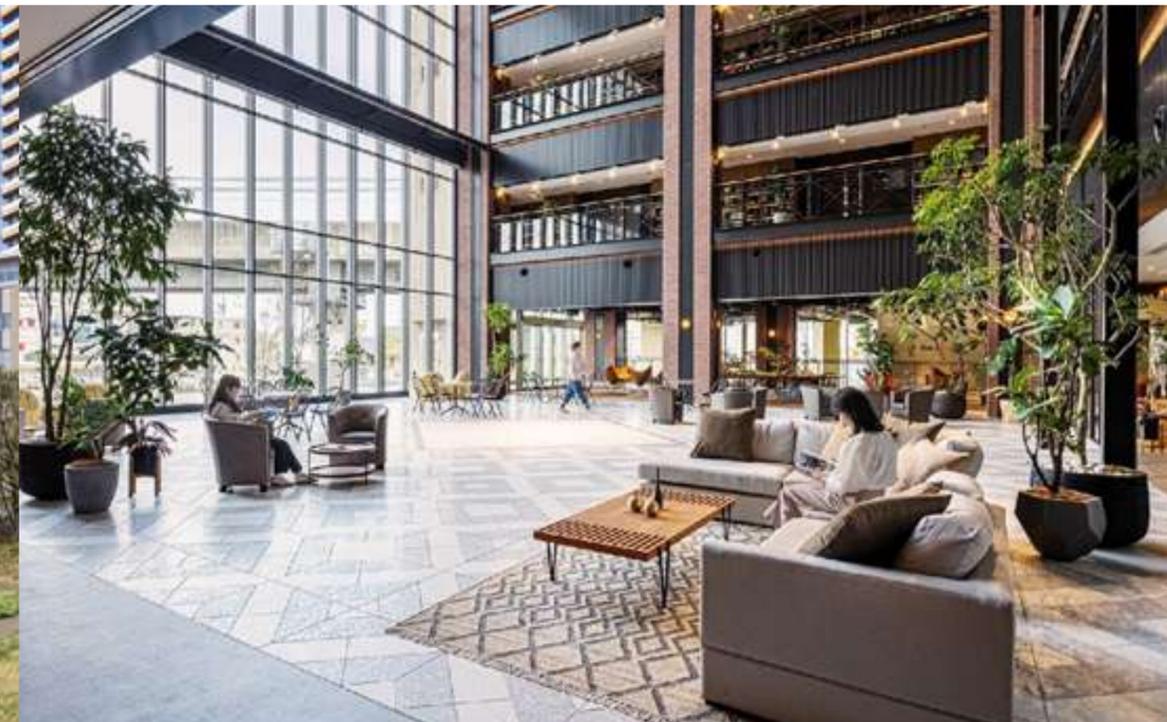


PROPOSAL PROJECT

提案型プロジェクト



柏の葉スマートシティ KOIL TERRACE



プロポーザルプロジェクトは、DRAFTの企画提案により生まれるプロジェクト。能動的な提案はビジネスチャンスを増やし、経済や社会状況からの影響を緩和させます。



+SHIFT NOGIZAKA



LEADING PROJECT

挑戦プロジェクト



リーディングプロジェクトは、大規模な建築コンペや設計競技を通して挑戦するプロジェクト。新たなデザイン領域を開拓し、DRAFTの設計技術およびブランドの価値を向上させます。



横浜・臨港パークプロジェクト



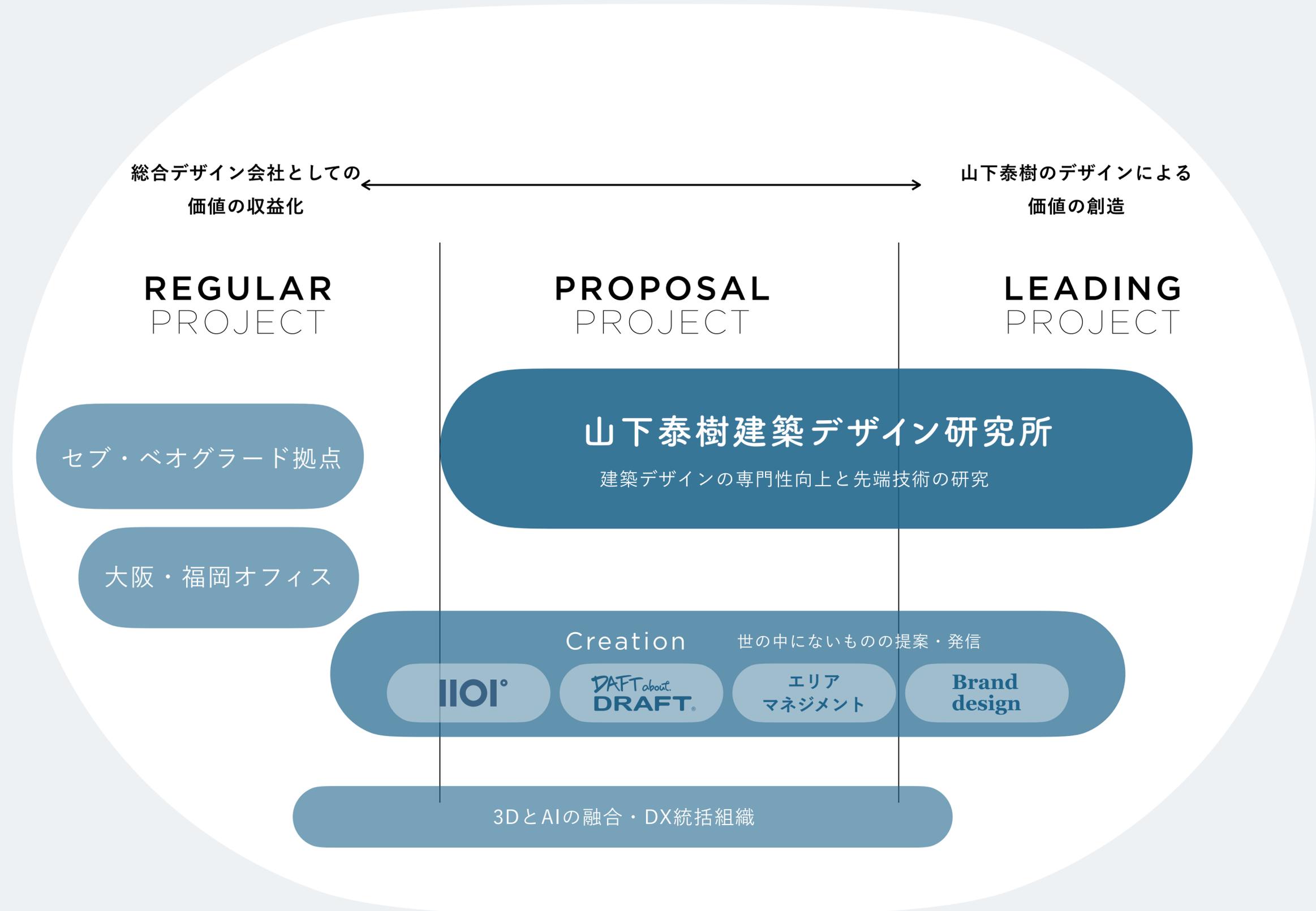
GROWTH STRATEGIES

成長戦略

02.

持続的イノベーションを起こす
組織体制の強化

成長戦略として事業成長を支えるもう一つの施策として、組織体制の強化と、新規企画やコンテンツ開発による新たな価値創造の取組みを強化してきました。具体的には、セルビア・ベオグラード拠点開設、「DAFT about DRAFT」ローンチ等が該当します。



GROWTH STRATEGIES

02.-1

山下泰樹建築デザイン研究所の設立



建築デザイン領域の専門性向上と先端技術の研究を目的とした社内独立組織「山下泰樹建築デザイン研究所」を開設し、活動を開始いたしました。成長戦略に沿ってすでに多くのプロジェクトを推進しています。



GROWTH STRATEGIES

02.-2

組織体制の強化



組織の基礎体力のさらなる拡充を目指し、オフショア拠点の増強、西日本エリアの強化、3DとAIの融合をはじめとするDXの推進および統括組織の設置を進めます。



海外市場獲得を見据え
オフショア拠点を拡充

将来的な海外市場の獲得と3Dデザインチームの拡充を目的に、フィリピン・セブ島に加えてセルビア・ベオグラードに新たな拠点をオープン、海外2拠点体制で運営し始めました。



西日本エリアの強化 福岡オフィスを新設

西日本エリアでは急速な開発が進んでおり、特に規制緩和が進む福岡では中長期的な成長が見込まれます。このため、2022年1月に福岡オフィスを新設し、活動を開始いたしました。



3D&AIの融合とDX推進組織の設置

3D技術とAIの融合によるプロセス改善、デジタルツールを活用したデザイン技術の向上を目指し、DXとITの統括組織を新設いたしました。

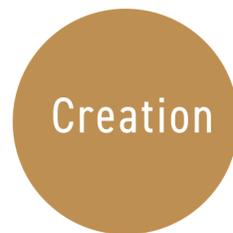
GROWTH STRATEGIES

02.-3

クリエーション



まだ世の中にない、実験的な企画を積極的に提案・発信し、コア事業へ還元する価値創造の取り組みを強化。



ブランドの強化
事業領域の拡大



実験的事業へ投資
社会課題の解決へ



CASE STUDY

1 実験的企画から スーパーシティ構想へ

コロナ禍でリモートワークが活発化した2020年、日本の狭い住環境を見直す「食寝働分離」を提案し、次世代型住居のモデルルームを設計。この提案が愛知県幸田町のスーパーシティ構想提案へつながり、領域を拡大させるきっかけとなりました。



次世代型ライフスタイル
企画・提案



スーパーシティ構想の
デザインアーキテクトに採用



2 デザイン提案から広がる エリアマネジメント

横浜市臨港地区の活性化のため、デザイン提案に留まらない、エリアマネジメントを含めたまちづくりを提案しており、2021年に必要資金の調達を実施いたしました。2023年以降の完成を目指し、2022年より建設を開始いたします。



デザイン・エリアマネジ
メントの企画提案



今後活性化する
地方創生への貢献



SUMMARY

プロジェクトの好循環、強化を続ける組織体制の相互作用により
デザインビジネスとしてさらなる拡大を目指します。

2023年12月期 売上高計画

100 億円

長期的売上高目標値

300 億円

APPENDIX

参考情報



SUPPORTING MATERIAL

DSR (Design Social Responsibility)

デザインによる社会貢献を目指し、子会社があるフィリピン・セブ島の子供たちを対象としたデザイン教育を実施。現地の小学校を訪れ、デザインワークショップやVRを使った仮想現実世界のデザイン体験を行いました。



社会貢献活動の取り組み

DRAFTの企業理念である「ALL HAPPY BY DESIGN」の考えのもと、デザインを軸とした社会貢献活動に力をいれています。

横浜を中心としたスポーツチームを応援

都市全体で文化芸術やまちづくりを強化する横浜市を広く応援することを目的に、サッカーJ1リーグの横浜F・マリノスや横浜FCのパートナーとして地域のスポーツ事業の応援を行っています。



SUPPORTING MATERIAL

リスクと対応策

当社グループが認識する主なリスク及びその対応策は次のとおりです。なお、その他のリスクについては有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照ください。

景気動向に関するリスク

当社グループの事業は、景気動向に影響を受ける場合があると考えております。経済情勢の悪化や不測の事態の発生により、市場の急激な縮小や競争環境の激化が生じた場合、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。当社グループでは、デザインを基軸として事業領域を拡大し、収入の多様化を図ることでこのリスクに対応してまいります。

デザインの模倣又は陳腐化のリスク

当社グループは、デザイン力を競争力として事業を拡大しております。空間デザインは権利の保護が難しく、模倣されて安価に提供される可能性があります。また、当社グループが提供するデザインが、時流にそぐわず陳腐化する可能性もあり、これらの事象は、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。当社グループでは、常にデザインの先端企業であるべく不断の努力を行い、また、施工実施力との相乗効果で模倣を許さないビジネスモデルを構築することで、このリスクに対応してまいります。

特定人物への依存について

設立以来当社グループの事業を牽引してきた代表取締役山下泰樹は現役のデザイナーでもあり、経営方針や事業戦略の立案・実施、事業推進において、極めて重要な役割を果たしております。このため、何らかの理由により同氏による当社グループの業務遂行が困難となった場合、現状においては当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。当社グループでは、過度に同氏へ依存しないよう、引き続き経営幹部及びデザイナーの拡充・育成、権限委譲による組織的業務執行体制の構築に取り組んでまいります。

役務提供完了予定時期の変更に関するリスク

当社グループの事業は、発注者の意向を元に役務提供のスケジュールを計画する受注型業務が中心となっております。このため、発注者の都合による予定変更等により、役務提供の完了予定時期（売上高の計上予定時期）が、当初の予定から変更となる場合があります。また、大規模自然災害や、感染症の拡大等による社会活動の停止等により、役務提供の完了予定時期が変更となることも想定されます。このような変更が期末をまたいで発生した場合には、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

DRAFT®

本資料の取り扱いについて

本資料は当社をご理解頂くために作成したもので、投資勧誘を目的としておりません。本資料に含まれる将来の見通しや戦略等に関する記述は、資料作成時点において当社が入手可能な情報に基づき策定しているため、リスクや不確実性を含んでおり、その実現を約束する趣旨のものではありません。各種指標の進捗状況につきましては、半期ごとの決算説明資料において説明を予定しております。なお、事業計画につきましては2023年12月期通期決算の発表時に更新する予定です。